

へなちよこ欧羅巴紀行

サイトウ ハナコ

へなちよこでも
意外に行ける！？



お金ない！ 語学力ない！
妄想ばかりがふくらむけれど、
どうにか1ヶ月ヨーロッパに行って来ました。



旅ゴロ！～ヨーロッパ放浪編～

へなちょこ欧羅巴紀行

サイトウ ハナコ

イロドリ舎

もくじ

はじめに 5

旅の計画 17

スイス 29

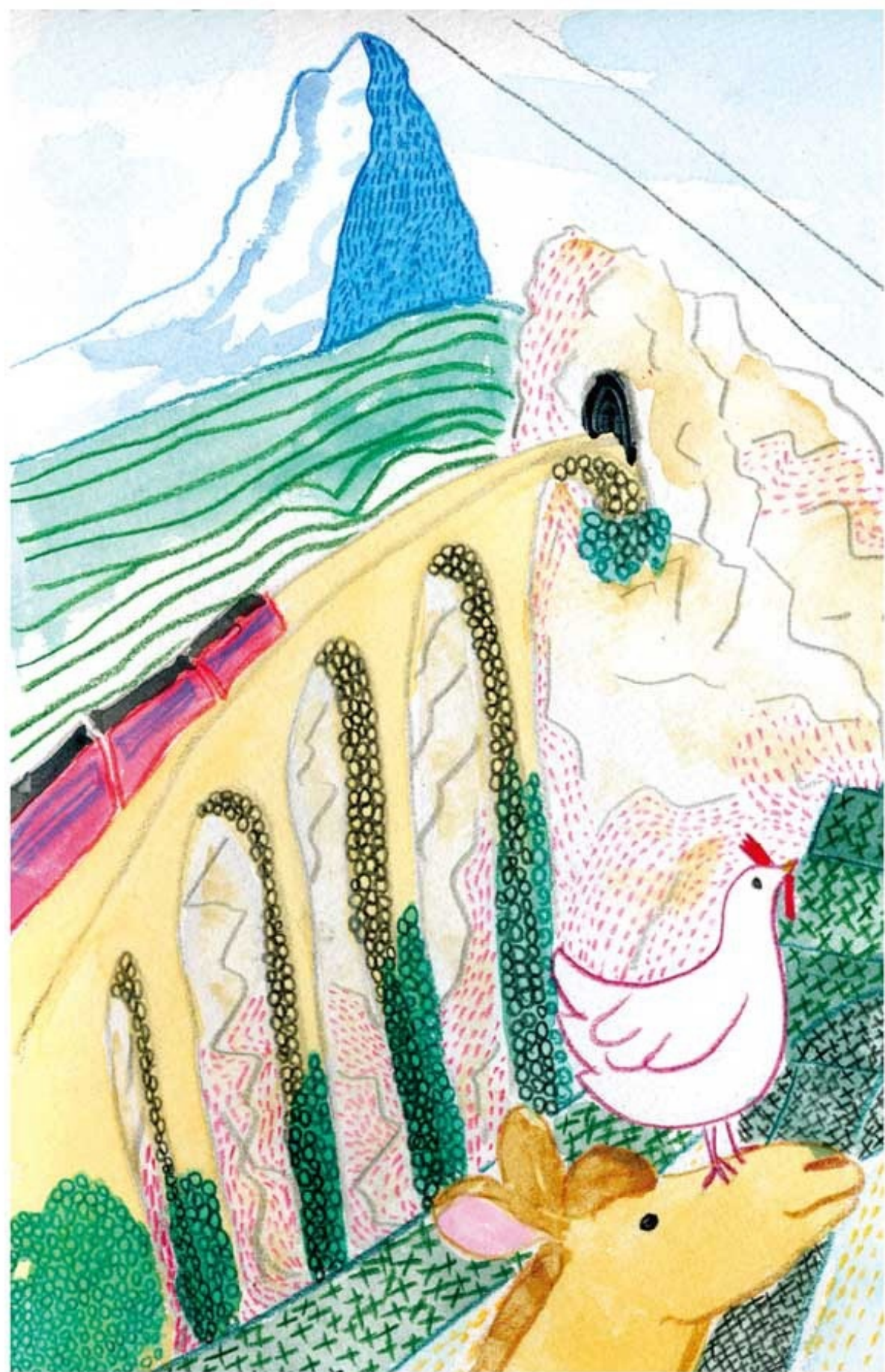
ドイツ・オランダ 49

フランス 75

おまけ 103

あとがき 110





は
じ
め
に

旅に出ようと、思いつきました。

旅に出る理由



でも、私ったらへなちよこ



さらに、過去の苦い記憶・
・
・

人なよちこ

海外旅行列伝

悲しいけれど、今となれば、良き(?) 思い出。
※ここに描かれていることは、すべて事実です。



ハナコ 25 歳



ハナコ 21 歳



ハナコ 20 歳



そして、今...



ハナコ 30 歳



ハナコ 28 歳

・
・
・
でも、行きたい！

（ラストチャンスかもしれないし！）

こうして 克服?!

1 お金が"ない!"
→ 地元のアルバイト



2 語学が"ダメ!"



DS「えいご」が

一応セリクカは
何よ

助っ人さん!

Hello!



ワーホリ2回の強者
Mちゃん

Bonjour!



Tちゃん P氏
シエブ在住の天妻

一応、勉強しましたが、すぐあきらめて助っ人登場!!

3 しかし、妄想は
さらに進む



9pのハナちゃんこっふりには、こうい 解決しはのです。

で、旅に出ました。



旅の計画

カレンダー

実際に持って行っていたしおりの
カレンダーです。

mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
6/4	5 日本 ジュネーブ T家	6 ジュネーブ T家	7 ジュネーブ T家	8 ツエルマツト P	9 ツエルマツト P	10 マイエン フェルト
11 マイエン フェルト	12 リヒテン シュタイン チューリヒ	13 チューリヒ P	14 ベルリン P	15 ベルリン Welcome 29 P	16 ベルリン DDR3	17 ハンブルグ P
18 ハンブルグ	19 フランク フルト P	20 フランク フルト P	21 フランク フルト P	22 古城YH P	23 フランクフルト P	24 トウール P
25 モンサン ミッシェル P	26 アムス テルダム P	27 アムス テルダム P	28 ゴッダの チーフ市 P	29 パリ P	30 パリ P	7/1 パリ P
2 パリ P	3 パリ P	4 パリ P	5 パリ P	6 日本 P	7	8

SHOPPING

旅に行く前のスケジュールは総崩れ・・・。

現地の情報や気分によって、どんどんと計画は変わっていきます。

予定は未定。まさにそのとおり！



今回の旅行で決まっていたことは、「ヨーロッパを1ヶ月旅すること」と「スイスのジュネーブで暮らしているTちゃんを訪ねること」くらいでした。まず大前提として、貧乏旅行になるのは確実(2年ほど前に、同じメンツで北欧を旅していたので、なんとなく同じ感じになると思っていたので、いかにお金をかけずにいろんな所を見て回れるかがテーマなのです。

さて、結局今回は、スイス・ジュネーブから始まり、氷河急行に乗ってスイスの自然を満喫し、アニメ「アルプスの少女ハイジ」の舞台となったマイエンフェルトへ。その後ドイツへ入り、最後はパリに行くという、ざっくりとした骨組みだけは決まっているものの、詳細は未定のまま旅立ったのでした。

これ買ってよかった!

ハイコ目的

ベストアイテム



MOLESKINEの

スケッチブック

2,700円位

方角日記かい

FujiFilm
Pivi

10,000円位

写真をすぐ
プリントアウト!下書きにする
アイテム!Karrimor (カリモア) の
バックパック 40~55L

23,000円位

赤外線通信 すごく便利やすく、
すぐ送れる。しかも丈夫!

持ち物は、今回スーツケースではなく、バックパックを背負っていくため、必要最低限しか持っていきません。とはいえ、結局空港で量ったところ11kg。重い! 重すぎます。

主にどんなものを持っていってたかといいますが、着替え、洗面道具、貴重品。あとは、旅の記録用のスケッチブック、色鉛筆、カメラなど。(これが重いのですよ)

他にも自炊用の日本食(うどんとか調味料とかね)、そして旅の相棒「ごとおと師匠」! (ごとおと師匠は紙粘土で作ったヤギの俳句師匠です。紹介はまた後程・・・)

航空券やユーレイルパス、主な宿泊先の手配は、全てMちゃんがやってくれていました。

ホント 円安で

大変だったの



丁度、旅行に行く頃は、

ユーロ高が加速!!

1 ユーロ = 168 円

そのおかげで

飛行機代 148,610 円

ユーレイルパス 5日分 + スイスパス 3日分
92,000 円

なんと、パリのエッセルマン・ゴール空港の
レートは 1ユーロ 180 円でいい!

じおと

二度見する

まさかと思っ

ユーロ高

困ったのう...

— じおと師匠プロフィール —
紙ねんどで作った旅の相方。
自称 俳句師匠の白ヤギで下ネタ
俳句を詠む。
モデルとしてよく写真に登場します。





1日目 酒は飲んでものまれるな！

いよいよ出発です。さて、これまでのハナコの海外旅行へなちよこ列伝をおさらいしておきましょう。

◆ハナコ海外旅行へなちよこ列伝

- ① 初めての海外旅行はヨーロッパへの卒業旅行。
なんと雪で、乗り継ぎがうまくいかず、ウィーンに行く予定が、アムステルダムで足止め。
- ② 就職しての社員旅行はグアム。
関空まで行ったものの、インフルエンザのため断念。JALの車いすで、バス停まで運ばれる。
- ③ 高校時代の友人と行ったイタリア。
2000年に行ったため、ミレニアムということで何かの行事があつたらしく、バチカン市国に入れず。
- ④ 会社の同僚9人で行くバリ島旅行。
前日にパスポートがなくなっていることに気づき、徹夜で探すも発見できず……。で、当日キャンセル。
- ⑤ 今回も共に行くMちゃんで行った北欧2週間。
デンマークで財布をすられ、現金約7万円とカードを失う。
・・・はい。簡単に出ただけで、こんなにあります。それでも、それでも旅に出るのです。こんなつらいことも今では良き思い出。今回は、きっと大丈夫なのです。

さて、この日関空に着いたのは、そんなに遅くはなかったけどちょうどいい頃合い。それなのに、エールフランスのお姉さんが新人だったらしく、搭乗手続きにももの凄く手間取った結果、搭乗口まで走るはめに……。こうして、ばたばたとあわただしく旅は始まってしまったのでした。なんとか間にあって、機内へ。残念ながら、窓側でも通路側でもなく、なんと真ん中の席。トイレの近い私は、不安でいっぱいです。しかも周りは修学旅行生。（隣の席も女子高生）というか、今って修学旅行は海外が当たり前なの?! 私の時は、信州長野にスキー合宿だったわよ！

今日から旅行ということもあって、普段は車に乗ることが多く、お酒を飲むことができない私は、ちよつとテンション上がり気味♪ もちろんビールを頂きます。機内食の時にはワインも頂いて、ご満悦☆ ところが、やっぱり来ました2日酔い。（そんなに時間もたつてないけど）頭はぐわんぐわん痛いし、ちよつと気持ち悪いかも。なんだかむかむかする胃をごまかしごまかし機内での映画を観ます。なんとかパリに着く頃にはしっかり治してみせました。

パリのシャルル・ド・ゴール空港で乗り継ぎ、スイス・ジュネーブへ。これがまた、乗り継ぎ時間もほとんどなく、焦る焦る！ でも、エールフランスの人は全く焦っていない。もの凄く混雑する空港。誰に聞いても「とりあえずココに並んでおけ」のひと言で終わり。イライラ並んでいたけれど、これはもうやばいと思ったので、強行突破！（日本では出来ない横はいり）ジュネーブ行きの飛行機にどうにか滑り込み、なんとかジュネーブ在住のTちゃんのもとへたどり着いたのでした。

ああ、疲れた。今回の旅も、やはりなにか起こりそうな予感がします。

ス
イ
ス



チューリヒの街並み。久々に都会！



ジュネーブの大聖堂からの眺め。



Vevey(ヴヴェイ)の町並みはカワイイ。



マイエンフェルトにて、
外にあるテーブルでお手紙
を書いていたら、どこから
ともなく突然ヤギが集団で
走ってきました。ほんの数
分でテーブルは乗っ取られ、
手紙まで食べられそうに！



ヤギに占拠されるテーブル。
もう可愛さよりも怖さが勝ちます。



ゴルナーグラード展望台は、3,130m



ツェルマットの
電動自動車。

ツェルマットから展望台へはこの列車で。



ヴヴェイから、レマン湖の眺め。



氷河も見ることができます。



ツェルマットの町からのベストポイント。



レマン湖は、この年
例年になく透明度が高
かったらしい。泳いで
いる水鳥の足までしっ
かり見ることができま
す。(ちよっぴり、恥
ずかしい!!)



スイス・旅のおさらい

スイスのジュネーブ空港に到着後、3泊Tちゃんの家に泊めてもらいました。2日間ジュネーブを案内してもらったあと、Tちゃんも共に電車でツェルマットへ移動。マッターホルンを見たり自然を満喫したあと、氷河急行を堪能し、ハイジのふるさとマイエンフェルトでTちゃんとお別れをし、いざハイジの暮らしていたおんじの家へ。

(ここでのお話は後程)

その後、バスでお隣の小さな国リヒテンシュタインにちらりと寄って、再びスイスのチューリヒへ。チューリヒで1泊し、超豪華夜行列車に乗って、ドイツへと移動したのでした。



2日目 ジュネーブは楽し♪

今回は、まったくへなちょこなところがないのです。なぜなら、頼れる友人Tちゃん（ジュネーブ在住）がいるから！ 久々に3人そろって喋りまくりで、ジュネーブの街を案内してもらいました。ジュネーブはスイスのどこにあるか分かります？ スイスの西端、フランスに飲み込まれているような場所です。（MAP参照）そして、ジュネーブの街で、一番きれいなもの。それはレマン湖でした。例年になく、一番きれいな状態のよう、橋の上から見ても湖の底が見えるくらい！ 泳いでいる水鳥の頑張っている足が丸見えなのです。

さて、本日のお昼御飯は、チキン！ なんと、トリの半身が一人前！ 山のようなフライドポテトとこれまた山のようなサラダ付。とっても美味だけど、半分の量で半額にしていたきたい。（約1500円位です）Tちゃんによると、最初の頃はお腹いっぱいだと思っていたものの、生活に慣れてくると全て食べることが可能になってくるとか。道行く人はけっこう大柄な人が多いし、ちよつと納得してしまったのでした。

旧市街はともかわいいい街並みで、サンピエール寺院（大聖堂）の塔の上から見ると町並みは、うろこ状の茶色い屋根と小さな煙突の付いた建物がびっしりと並び、しかもその建物の窓にはかわいいお花が飾ってあって、ずっと見ていて飽きません。やっぱり、街並みを保存するのっていいなあ。日本も、町屋とかもずっと日本らしい感じの建物しか建てちゃダメってことにしたらいいのに。なんだかずっと日本語でしゃべっているし、日本気分が抜けず。観光というよりも、暮らしている感じでのんびり出来たのでした。

今日の歩数

20,971歩

実は万歩計持って行っていました♪↑



3日目 気合いで通じる？

今日もジュネーブ♪ 午前中は、旅の後半でTちゃんも合流して行く予定のフランスの世界遺産「モンサンミッシェル」での宿探しをしました。モンサンミッシェル名物ふわふわオムレツで一番有名な店「プーラールおばさんのレストラン」のホームページでテンションUP！ オムレツを泡立てている音がずっと流れているんですよ。またチェックしてみてください。

さて、昨日だいたいジュネーブを案内してもらったけど、今日行きたいところは郵便局！ 昨日、たくさん買ったハガキでお手紙を書いたので、切手を買うに行くのです。フランス語はもちろん、英語も大して喋れない私は、郵便局の窓口でハガキをどーんと出し、

「TO JAPAN！ 5！ 5！ プリーズ！」

と、単語を並べて訴えました。（なんてへなちょこ！）この時、仏語と英語をしゃべることのできるTちゃんと英語をしゃべれるMちゃんもいましたが、「頼ってばかりではいけない」と思って、どうにか頑張ったわけですよ。こんな情けない語学力でもなんとか切手を買うことが出来ました。終わりよければ、すべてよしというわけなのです。

ただ、記念切手とかがあるのかは聞けなかったもので、それだけが残念だったと。本当に、ヒアリングができていても、いざ自分で何か言おうと思った途端、まったくしゃべれないものですね。この程度の用事ならどうにでもなるんだけども。

今日の歩数
7,438歩



郵便局から、次はTちゃんオススメの植物園に連れて行ってもらいました。ここ、かなり素敵なメリーゴーランドがあります。(写真ページ参照) 果たして子供たちはこれを喜ぶんでしょうか? (大人はけっこう好きだと思う) 色合いがまずカラフルではないです。そして、乗物と化している動物が、まったく子供が好きそうな形ではない。それでも、我々三人、夢中になって撮影! ハナコの、今まで見たメリーゴーランドの中で一番ステキなたらずまい。しかしながら残念なことに、この時期はまだ動いていなかったのですが、動いているときはさらにステキとのこと。(Tちゃん曰く、「子供も夢中☆」) 次は、動いているときにぜひ行ってみたいと思ったのでした。



4 日 目 ツェルマツトへ

今日は、3日間お世話になったTちゃんの家から、マッターホルンのふもとの町ツェルマツトに移動します。朝から、とても大きなバケットでお弁当のサンドイッチ作り♪ 何でもかんでも入れすぎたせいか、超豪華なものでかすぎる一品が出来上がりました。うまそうだけど、かなり豪快です。(写真ページ参照) 食べる時、うまいこと食べれるやろか？ と、不安になったりもしました。

ジュネーブから電車に乗って、まずはヴヴェイという町を目指します。ここはTちゃんお勧めの町で、街並みがかわいらしい！ レマン湖のほとりで、のんびりとサンドイッチを頬ばります。(案の定、食べるのに苦労しました) レマン湖にはなぜだか巨大なフォークが突き刺さり、チャップリンの銅像も立っていました。

(なんか縁があるのかしら？ 調べないところがまたへなちょこヴヴェイから、また電車に乗ってツェルマツトを目指します。「世界の車窓から」の気分で、頭の中はもうあのテーマ曲が流れています。窓から写真も撮りまくり。緑の牧草地に、牛やら羊やらがのんびりと草を食み、ただそれだけの景色なのにすごい感動！

フィスプという駅で電車を乗り換え、いよいよツェルマツトに近づいてきました。荷物を網棚に乗せようと思ったら、持ち上がらない……。もう少しのところ、腰が砕ける非力な私。そんなとき、周りの人が助けてくれたので、ホント助かりました！

どんどんと山の中に入っていく路線。先がとんがった山を見つけては、写真撮りまくり「あれがマッターホルンでは？」と叫ぶ日本人3人。ようやくツェルマツトについたところには、マッターホルンかどうかわから

今日の歩数
8,776歩

ない山の写真がたくさん撮れていたのです。このころは、まだ旅も始まった頃で、何もかも新鮮！ 1週間も経つ頃には、車窓からの眺めも、全て同じように見え、写真もほとんど撮らなかつたのです……。



5日目 マッターホルン待ち4時間！

昨日着いた、ツエルマツトという町は、マッターホルンを臨む町。この街は、環境に配慮してガソリン車は一切乗入禁止なのです。小さなかわいい電気自動車が走る、空気もおいしくてステキな町です。駅からもマッターホルンが見えるしとってもいいんだけど、なんせ日本人の団体観光客がたくさんいました……。まあ、有名観光地だからしょうがないんですね。

ここでのお宿は、ユースホステル。8人相部屋のユースの部屋の窓からは、しっかりマッターホルンが見えるし、部屋は小奇麗だし、食事はおいしいし、けっこうお勧めです。この日の相部屋は、他に日本人の女の子が1人だけ。旅をしてからずっと周りは日本人ばかり。しかも治安もいいし、油断しまくります。前回北欧に行ったときはこの油断でスリにあうという大惨事を招いたのです。気を引き締めなければ。

さて、マッターホルンをより近くで見るためにたくさんの展望台があるのですが、我々が選んだのは某ガイドブックで「スイス一の展望台と言えここ！」と書いてあった「ゴルナーグラート展望台」ツエルマツトから、ゴルナーグラート駅（標高3089M）にある展望台まで一気に電車で登ります。

今日の歩数
2,811歩



ここでその昔、同じスイスのユングフラウヨッホに登ったときになったのと同じ症状が、またしてもハナコを襲います。

それは、そう・・・高山病!

まず、あまりしゃべらなくなりました。次は、寒くて寒くてしようがなくなりました。

キャミソール 2 枚 + レインウェア + ストールぐるぐる巻き + 帽子という、この旅で出来る最大の厚着をしているにもかかわらず寒い! (※ちなみに、この時 M ちゃんは半袖でした) なんだか貧血のようになっていきます。駅から展望台へは少し坂を上がらなきゃいけないんだけど、ほんのちよつとの坂が苦しくて、苦しくて!

それでもなんとか、展望台に到着！ でも、そこら中曇っています……。マッターホルンどころか、近くに広がる氷河も見えません。とりあえず、水筒に入れて持ってきていた、あったかい紅茶を飲んで一休み。そうこうしているうちに、少し晴れてきたようで、氷河がキレイに見えてきました。しばし夢中でシャッターを切り続けます。一通り写真も撮り終えて、マッターホルンのみを残した段階で、椅子に座って晴れるのを待ち続けます。

その間、ごおと師匠のメガネが無くなったり、そして、そのメガネが思わぬところから出てきたり、ゴッドファーザーに出てきそうなおばちゃん（ものすごい存在感がある。彼女が視界に入った途端、あのテーマソングが！）を観察したり、同じように雲が切れるのを待っているおじいちゃんが、ものすごい望遠レンズの付いているカメラで鳥を追っかけまわしている（とにかく何かを撮りたかったらしい）を観察したり、そのおじいちゃんが、買ってきたピザをうっかり落して、さらにその落ちたピザを食べちゃったところを目撃したりそんなことをしている間に、なんと4時間経過。最後は、雲の切れ間から一瞬顔を出したマッターホルンを写真に収め、電車に乗って帰ります。

ちなみに、帰りの電車から角度を変えてマッターホルンを見ると、あっさりとキレイに山頂まで見える！ なんとなく、腑に落ちないながらも、電車の中から激写☆ あとで見返すと、同じような写真がものすごい数あります。時間に追われている日常生活を離れて、のんびりと雲が消えるのを4時間も待つ贅沢さ。

でも、4時間待ってもスツキリしないこの天候……。ただ、帰るタイミングを失っただけのへなちょこっぷりだったのです。



6 日 目 氷河急行！

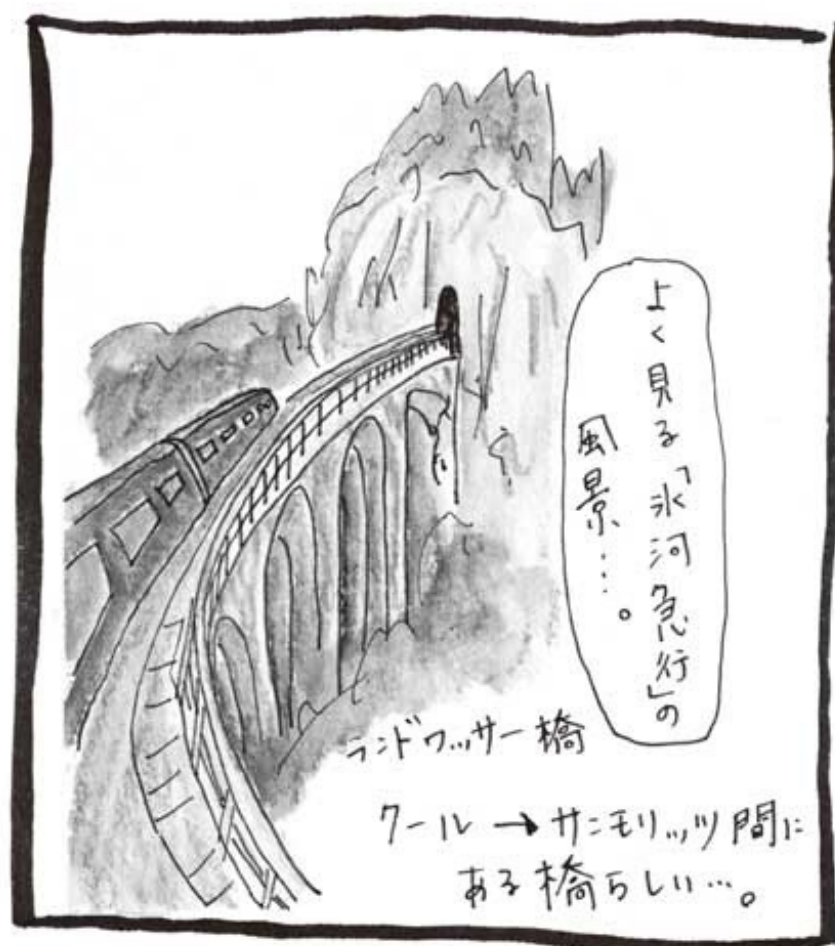
この日は、この旅のメインイベントのひとつ「氷河急行」に乗ります。昨日は、部屋からちらりと見えるマッターホルンの写真を撮りまくっていたのが、今朝は部屋から見えることすら忘れていた私！ 昨日見飽きてしまったのでしょうか？ そんなことはさておき、またしても重い荷物を背負い、チェックアウトをすませ、ツェルマットの駅まで歩いていきました。駅に着くと、すでに電車が停まっています。

「氷河急行 ～GLACIER EXPRESS～」

サンモリッツ～ツェルマット間(268・7km)を、時速35・5kmというのんびりとしたスピードで走る、8時間の列車の旅。もう楽しみで仕方ありません！ 事前に何の下調べもしていない中、唯一この氷河急行はテレビで特集されていたのを見たりしていたので、ちよつとだけどんな感じかわかっているのです。あんな景色や、こんな景色を実際に見れると思うと楽しみです！ 予算の都合上、2等車だけど、パノラマ車なので、窓が大きく、景色も見やすい。でも、これが暑いのですよ！ 日が直接当たるので、天気がいいと日焼けします。(行こうと思っている方は、帽子とかサングラスとか持っていた方がいいかも) 窓の外は、山、お花、動物などを見ることができて、のんびりすることが出来ます。

でも！ テレビで見た橋が見えない！ なんてだろう？ と思って、ガイドブックを見たら、なんと今乗っている列車は、メインどころの橋は通らない！ 「悪魔の橋」といわれる橋は、別の支線に乗り替えないといけないし、「ランドワッサー橋」という足の長い橋は、我々が降りる予定のクール駅の先で通るとのこと。

今日の歩数
8,854歩



完全に、勉強不足です……。まさか、メインの橋が電車を乗り替えないと見れないなんて！ まさにイケてないへなちよこっぷりです。

気を取り直して、予約していた食堂車へ。この食堂車、最初からある訳でなく、途中の駅で連結され、オーブンするもの。我々が降りる予定のクール駅に着く1時間ほど前の話なので、けっこう急がねばなりません。

でも、食堂車に向かう際、立ちはだかる車内販売のワゴン。こっちは急いでいるのに、こちらに背を向けて延々と陽気に喋りまくるワゴンのお兄ちゃん……。どうしようかと思っていたら、食堂車のおじさんが焦って呼びに来てくれました。このおじさん、ものっすこい焦っています。それがおかしくっておかしくって、見ているだけで笑えたのでした。食事は、もちろんとってもおいしい！ やや値段ははりますが、旅気分も盛り上がるし、オススメですよ。

そして、列車はクール駅へ。この駅で乗り替えて、次は「アルプスの少女ハイジ」の舞台となったマイエンフェルトに向かいます。



7日目 がっかりスポツト誕生！

今日の歩数
15,904歩

マイエンフェルトは、アニメ「アルプスの少女ハイジ」の舞台になった町。もちろん、ハイジ世代(?)の我々としては、ものすごいはりきっております。旅に出る前から、ハイジごっこをするべく、Mちゃんはハイジ役、ハナコはクララ役・・・と役柄まで決めて、やる気満々！ハイジの道というハイキングコース(1時間半の赤コースと4時間半の青コース)があつて、ハイジの世界を体感できるとのこと。この日もマイエンフェルトに泊まることだし、4時間半の青コースを選んで歩いてみることにしました。このハイキングコースは、ちゃんと看板があるので、けっこう迷わずに歩くことが出来ます。

宿を出て、まずは地図をもらうためにマイエンフェルトの駅へ。やはり、日本人がたくさん来ているらしく、パンフレットはしっかり日本語版を入手。それにしても、観光客が少ない。平日だから？ 天気が悪そうだから？ いろんな疑問があつたものの、どんどん山を登っていきます。振り返ると、そこは緑あふれるハイジの世界！ハイジの泉に行くと、そこにはユキちゃんを従えたハイジがいます。ハイジ的観光地にちよつと興奮もちろん記念写真をパチリ☆・・・と、うきうきしているのはこの時まででした。

いったん山を登りだすと、しんどい！しかも、雨が降ってきました。軽登山であるにもかかわらず、折りたたみ傘をさす私。むしむしとした熱気が地面から湧き上がってきます。普通はレインウェアとかなんでしょうが、あまりの暑さに上着を着る気になれません。折りたたみ傘で充分なのです。歌を唄って気分を盛り上げようと、ハイジテーマソングの「教えて」を唄えば、あまりの高音部分に息切れ。ハイジってば、薄々感づ

いてたけど、驚異的体力の持ち主だわ。もちろん、我々に「ハイジごっこ」をする元氣は残っておりません。それでもなんとか、ハイジ博物館にたどり着きました。ハイジの暮しっぷりが分かるおうちになっていて、ハイジの部屋もあります。ただ！ 干し草のベッドでもないし、展示してあるハイジ達の人形は不気味です！

ここから、おんじの山小屋のあるハイジアルプまで、またひたすら山道を登っていきます。やっとこさたどり着いたおんじの山小屋。本当に疲れ切った身体をなんとか元気づけつつ近付いていくと、ちびっ子達の声がわいわい聞こえます。それは全然かまわないんだけど、そのちびっ子達がいるのはビニールの派手派手しいパラソルの下。ううう、がっかりだ。がっかりですよ！ がっかりスポーツに入っちゃいましたよ！

最初は、ハイジの村を体感できて楽しかったの。しかしながら、テンションの下がるようなことが多発！

- ① けっこう観光客が多いと思いきや、まったく人気のない町中。
- ② お土産は、どれもビミョーな品揃え……。
- ③ とにかく、ものつすごい山を登る……。
- ④ 天気が悪く、雨が降ってきた！ （たぶん、一番テンションの下がった原因★）
- ⑤ 博物館の中に展示してある人形が不気味……。
- ⑥ そして、おんじの山小屋があゝ！

あまり、悪口は書きたくないので、ここら辺でやめることにします……。たぶん、過剰な期待がすべてを色あせたものにしてしまったと思われます。皆さんも、過剰な期待はやめておきましょう。



8日目 切手の国リヒテンシュタイン

この日は、スイスとオーストリアに囲まれている小さな国「リヒテンシュタイン」に行きました。リヒテンシュタインへは、昨日までいたマイエンフェルトから、電車に乗ってすぐのサルガンズという駅から、ポストバス（スイスには、黄色いかわいいバスが通っています。このバスは手紙を運んで、郵便局から郵便局へ行くのです。で、郵便物だけでなく、人も運んでくれる。リヒテンシュタイン行きのバスは、「リヒテンシュタインバス」と言いますが、ほぼ一緒なのは）に乗って30分。別に国境を越えても、パスポートとか見せなくとも大丈夫！ 普通に越境できます。

リヒテンシュタインは、とても小さいけど立派な国。切手で有名だけど、最近では高度な工業製品（義歯、コンクリートドリルはヨーロッパシェア90%）も有名らしく、けっこう豊かな国のようです。10年ほど前に来た時、切手を売っている小さなおみやげ物屋さんの他は、何も無い国だという印象が残っている程度だったのですが、今回行ってみてびっくり！ とても近代化されていて、銀行やらおみやげ物屋さんやら、カフェやらが立ち並んでいます。（しかも程よい感じで）ハナコの的に、あんまり素朴すぎる街は不便だし、都会すぎても嫌だし、程よく観光地なところはけっこうお気に入り。（沖縄で言うと、竹富島とか！）

さて、まずは観光案内所に行って地図をもらわなければ。そして、荷物を預けなければ・・・。サルガンズで荷物を預けようと思っていたものの、コインロッカー代が5スイスフラン！ 高い！ そこで節約のため、

今日の歩数
15,904歩

重い荷物をここまで背負ってきたのです。観光案内所で聞いたコインロッカーは、2スイスフラン。ああ、得しちゃいました♪ そうです、我々はこんなビンボー旅行をしているのです。

荷物を預けたら、もう一度観光案内所に戻ってリヒテンシュタイングッズを物色。そのあとは2階の切手博物館を見て、町を散策。中心部はおみやげ物屋さんが軒を連ね、ちよつと郊外に行けばいい感じの街並みです。そこから、ワイナリーがあるというのでちよつと寄ってみる。(タダで試飲もさせてくれると聞いて、がぜん張り切る★)ところが、お昼は休み。ほんのちよつと(とはいえ1時間程度)待てば入れるのに、へなちょこ&めんどくさがりなので、やはりスーパ―に行ってお昼用のパンを購入。ベンチでお昼を食べて、さつさとスイス最後の地チューリヒへと移動したのでした。



9日目 ゴージャス×ゴージャス！

チューリヒでの宿探しの時、どうにかなるだろうと思っていたら、どうやらカーニバルかなにかあったらしく、ホテルが取れない事態に。さすがにちよつと焦る我々。野宿を覚悟していたら、意外に安くてきれいな宿が見つかったので一安心。とにかく、安宿確保できてよかった。

チューリヒの街は、今まで廻ったどの町よりも都会で、ちよつとドキドキ。またしても、コペンハーゲンですられた財布の記憶がよみがえります。しっかりと財布をしまい、チューリヒの街を歩いてみました。教会やら、この日タダで入れる美術館やらを見学し、ひとしきり楽しんだ後は、この旅のメインイベントのひとつ！

今日の歩数
22,453歩

超豪華夜行列車「City Night Line」に乗り込みます。しかも、何を思ったのか、超ビンボー旅行のくせにデラックス。なんてったって、個室で、トイレも風呂も付いてるんですから！ 今まで泊まってきた部屋（今後泊まる部屋も含めて）、こんなに清潔でバストイレ付で、しかもウェルカムシャンパンがついてる部屋はなかったですから！ 寝台車にもかかわらず、ステキなお部屋Best3に入りますわ。とにかく、このゴージャスさに、さらに輪をかけてゴージャスになるように、ビンボーな我々が準備したのは「高級チョコレート」！ しかも、それぞれ2個ずつ。Mちゃんもハナコも、現金でスイスフランはほとんど残っておりません。（だって、ドイツからはユーロだし）でも、カードを切るほどの金額でもない（フランスに行ったら、300円ほどでもためらいなくカードが切れるまでに成長したんだけど、このころはまだ、ウブだったのかしら？）ので、現金で買える範囲・・・ということで、2個が限界だったのです。

しかしながら、さすがは高級チョコレート！ たった二つでも、ゴージャスな雰囲気醸し出します。

ゴージャス × ゴージャス!! それは、1ランク上のゴージャス?!

ビンボー人が、浮足立ってしまいます。もちろん、ウェルカムシャンパンなど普段飲み慣れないものを飲み、かくなり酔っぱらってしまいました★ ろれつが回らず、何度も同じことを言っております。Mちゃん、ご迷惑おかけしました・・・。

さて、そんなこんなで、ゴージャス空間を堪能していると、一晩なんてあっという間。早朝に列車は、ドイツはベルリンにいたのでした。ゴージャス空間で一句・・・と思っていました、酔っぱらいましたので★

ZÜRICH

チューリッヒでの出来事



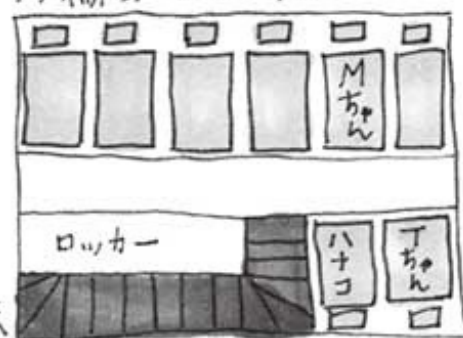
列車でチューリッヒに着いた時に、近くに座っていたおばあさんの荷物を持ってきてあげたら、馬鹿のホムで「いまだにハワ」。

老人の力とは思えない強さで「頭をガッカリ固定され、おれのキスを頂戴した。

4日目・5日目
ツェルマットでの
お宿は

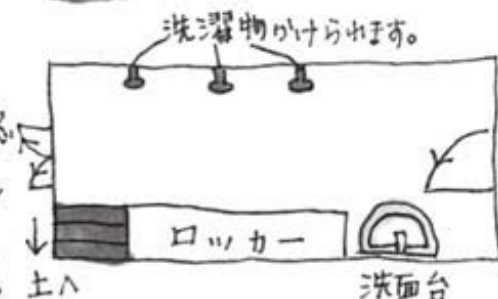
ツェルマット ユースホステル
**ZERMATT
YH**

メゾネット式 8%ドミトリー



1泊 2食付 48.6スイスフラン
馬場からちょっと遠いけど、キレイで食事
もオイシイです。

日本から ユースのホ-ム-ズ-で予約



出てこちにはバストイレ

6日目・7日目
マイエンフェルトでの
お宿は

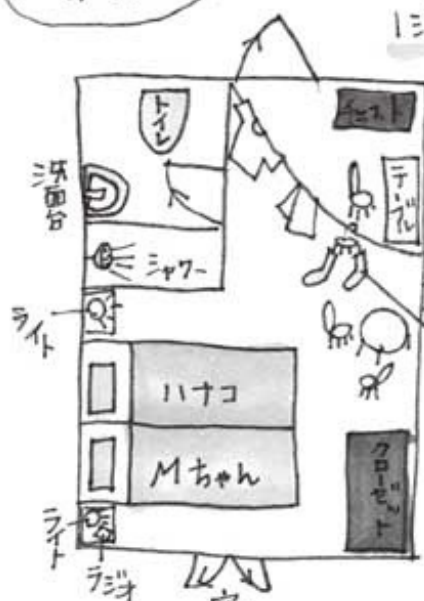
オクセン
Ochsen

1泊車食付 55スイスフラン

ガイドブックを見て、
当日飛び込みで
予約?!

けっこうゼミョ-な
ホテルだが、
2泊日は慣れる。

とにかく洗濯
したからTシャツも
2本ついでに干しておく!
すべて乾きました。



11エは99のホテルだ、たいてい、
朝食のクロワッサン最高!

スイスの

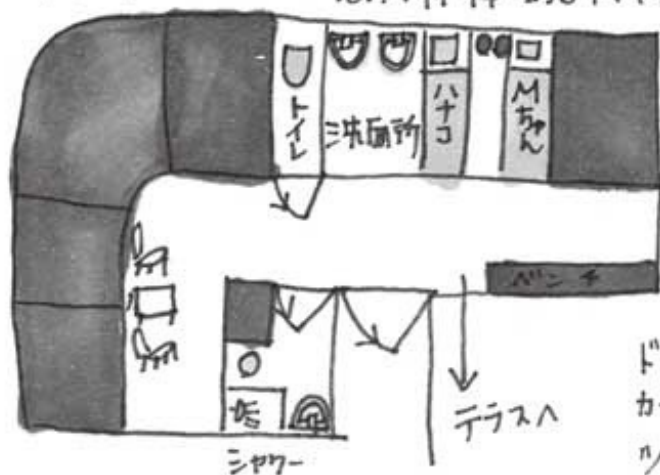
宿

8日目
チューリッヒの
お宿は

Hotel HOTTINGEN

Hottingerstrasse 31

女性専用ドミトリー Tel. +41 44 256 19 19



ドミトリーとはいえ、2つのベッド毎に
カーテンで区切りがあったので、ほほ
「インのイメージ」。
ただし、ものすごくキレイ。

朝食付 38 スイスフラン

①で当日予約

9日目は
寝台車!!

City Night Line



テーブルの上には、水・オレンジジュース。
ウエルカムドリンクもあり、カクテル付き!
「走る豪華ホテル」ですよー!

チューリッヒ → バレリン

テラス・バスルームで 約 2万円?
(忘れた!)

ド
イ
ツ
・
オ
ラ
ン
ダ



かなり、望遠で撮っています。



ぬいぐるみにしか見えません・・・。



やっと見つけた！ トリップペンのお店。



こちらも探したブレーメンの音楽隊像。



ベルリン大聖堂。腰痛のため、登るのは断念。

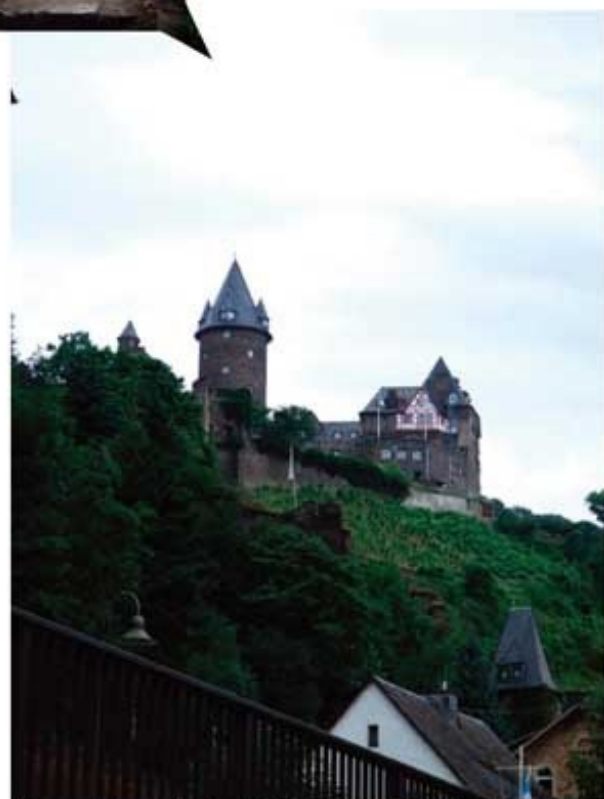


オランダの運河はステキ。 ゴーダのチーズ屋さん。

ユトレヒトのブルーナハウス。



ドイツ・バッハラッハにある、古城ユースホテル。
山頂にあるユースまで山道を登り続けること30分……。晴れていたから楽しいかもしれないけど、この日はあいにくの雨。

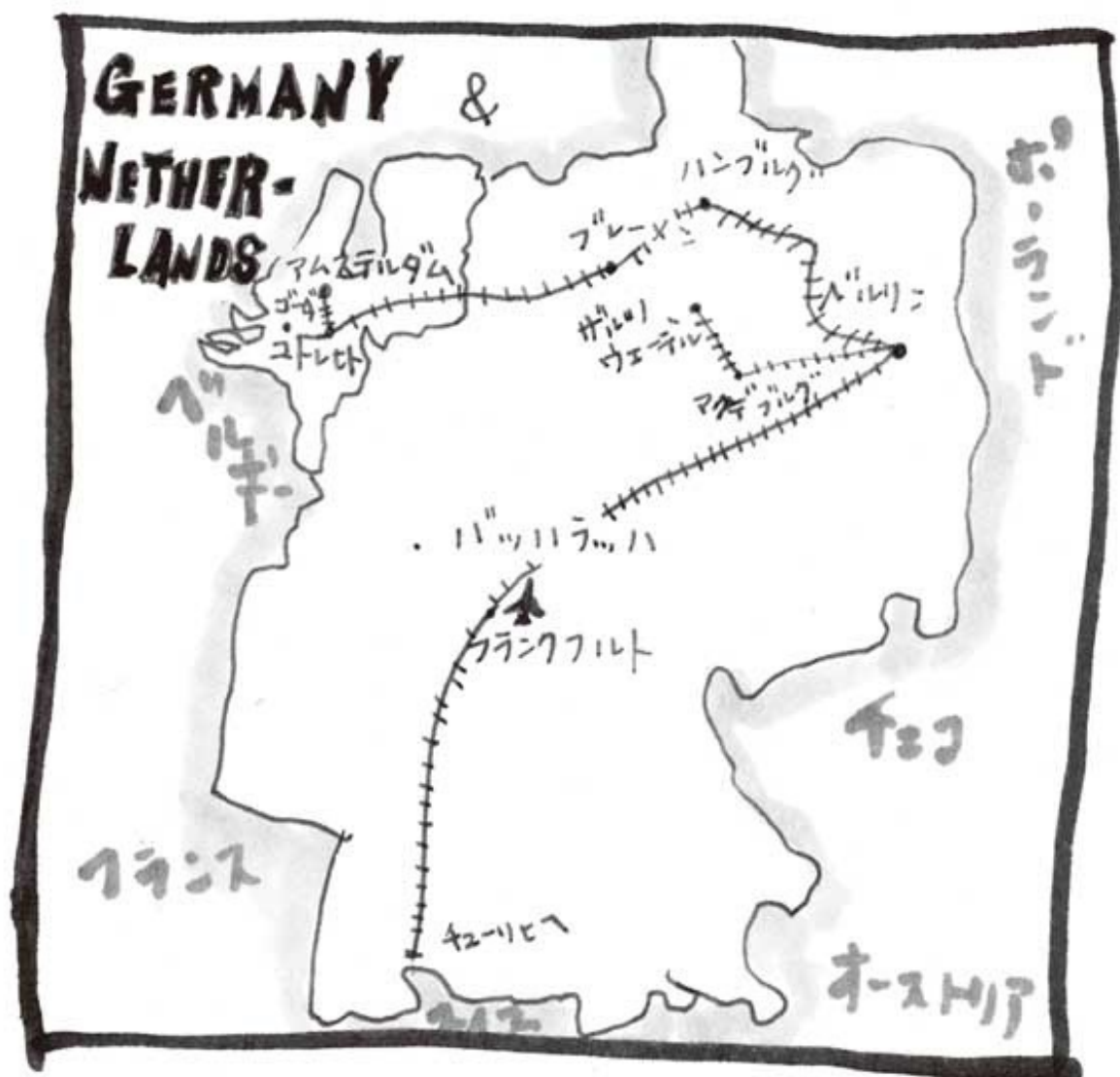


バッハラッハ駅から見える古城は、遙か山頂。
15…の荷物を背負っての道のりはツライ！
ジーンズと靴はどろどろになってしまった。



ドイツ・ハンブルグにある檻のない「ハーゲンベック動物園」。ゾウさんにも、ウサギさんにも餌やりが出来ます。オトナでも、夢中になってしまいます～！





ドイツ・オランダ 旅のおさらい

スイス・チューリヒから超豪華夜行列車に乗ってドイツ入りした我々。ベルリンにしばらく滞在し、4時間かけてバウムクーヘン発祥の地に行ったり、白くまクヌートにめろめろになったり、大雨の中、ブレーメンに行ったり、柵のない動物園に行ったりと、とにかくドイツ北部を巡りました。

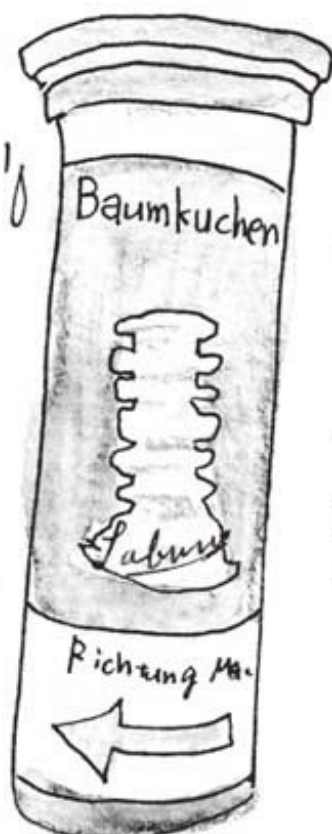
その後、オランダのユトレヒトに行き、うさぎのミッフィーちゃんの博物館を見学。

その後、またドイツに戻ってきて、古城ユースホステルに1泊泊まり、フランクフルト空港から、フランスパリへと移動したのでした。



10日目 バームクーヘン発祥の地

信号の横にあたる看板



これが、すべての
間ちがい

左に
行くんじゃない

ス々登場！こおと師匠

超豪華夜行列車の旅の余韻を引きずりつつ、ベルリンでまずは宿探し。早朝にもかかわらず、観光案内所は人でいっぱいです。イライラしながら並ぶこと数十分。それでも、なんとかホテルを取ることができました。

しかも、なんとベルリン動物園の近くです！ベルリン動物園については、また後日たっぷり語りたいと思いますので、ここでは割愛しますが、まずは荷物をホテルに預け、またしても列車に飛び乗りました。（この日は、ユーレイルパスを使っているのです、とにかく電車に乗らなければということなのです）

この日、一体どこに行ったかという

今日の歩数
13,493歩

と、バームクーヘン発祥の地と言われるザルツペーデルという街。ベルリンの北西に位置する小さな町です。ガイドブックにも載っていないかったこの地を訪れた理由はただ一つ！ おいしいバームクーヘンを食べること！（ちなみに、Mちゃんが調べてくれました）

駅のインフォメーションで聞いたところ、なんと10時19分にスタートして、たどりつくのは、13時57分！あれ？ 3時間で着くんじゃなかったっけ？（参考ブログ調べ）どうやら、まっすぐ行けばそうなるけど、あんまり電車の本数が無いため、遠回りしなければいけないとのこと。しかもこの電車が暑くって。（冷房が効いていない）

何とかたどり着いたものの、思っていた雰囲気とは違う……。ちょっと、思っていたよりも都会というか、なんというか。とにかく、駅から街の中心部と思われる方向へ歩いていくことにしました。イラストにもあるように、途中の看板に翻弄され、かなりの遠回り。さみしい街並みが続きます。かなり不安になって、おじいさんに道を尋ねて、なんとか町の中心部へ。やっとの事で、バームクーヘンと、さらにその店のエコバッグを購入。バームクーヘン発祥の地だけに、たくさんバームクーヘンの店が並んでいるかと思いきや、なんとこの街には3軒ほしかないうです。

3軒のうちの2軒目に足を運び、バームクーヘンをいただきます。見た目はとってもおいしそうに見える。でも、食べた感想は、日本のものの方がしつとりしておいしかったです……。やはり、日本って素晴らしー！ と思ってしまうのでした。



11日目 暑い！ 暑い！ ベルリン

ベルリンは、とても都会。 ベルリンは、とても広い。

ベルリンは、見所満載。 ベルリンは、超観光地。

ベルリンといえば、こんな感じですよ。とにかく、今まで行ったどの町よりも都会で、バカでかく、観光スポットが満載。そして、どこを見ても観光客でいっぱいでした。

ベルリン1日目の目的は、ドイツの靴メーカー「トリッペン」のアウトレットに行くこと！ すごい意気込みで書いていますが、Mちゃんが行くというので、連れて行ってもらったただけなのです。とりあえず、観光地をぶらぶらと見ながらお店に向かうことにしました。ベルリン動物園は、後日改めてじっくり見ることにして、まずは「ジーゲスゾイレ」という、戦勝記念塔に行ってみます。この塔、「ベルリン・天使の詩」という映画に出てくるみたい。残念ながら見ていなかったの、「おおー！」という興奮はなかったけど、ぜひ観てみたい映画になりました。

それはさておき、どうやらこの塔には登れるようなので、とにかく塔の下まで行きたいのだけど、かなり大きなロータリーの真ん中にあるので、行きたくても行けない……。信号は、塔の方まで続いていないし、どうしたものかと思っていたら、どうやら地下から行けるみたい。やっと階段の入り口を見つけて早速階段を下りてみたら……。暗い！ ちよっと怖い！ なんとかびくびくしながらも、ロータリー中央部に到達。しか

今日の歩数

40,337歩

なんと、距離にして20.1→↑

し、塔に登るにはお金がかかる。もちろん、登らずにさっさと移動。（嗚呼、悲しきビンボー生活★）

さらに歩いて、ブランデンブルグ門へ。この門は、ベルリンの壁が門のすぐ近くにあったため、壁がある時は通り抜けることができなかったみたいだけど、壁のない今ではちゃんと通り抜けることができます。「ブランデンブルグ」という名前を聞いただけで、バッハの「ブランデンブルグ協奏曲」とのつながりを思ってしまったけど、調べてみると門が出来たのは、バッハが死んでからのことのようなので、この門を見てバッハが作曲したとかいうことはないようです。なあ〜んだ関係ないのね〜。

さて、ここからトリッペンまで、ものすごい歩きました。しかも、すごくいい天気。暑い！ しんどい！ それでもどれくらいの距離があるか分からないので、とりあえず住所を頼りに歩いていきます。やっと見つけた時の感動と言ったらもう！ 店内では、たくさんの靴が所狭しと並んでいます。B級品とのことだけど、見た目も、履いた感じも分からない。それなのに、お値段は約半額！ もちろん購入する気満々です。

と・こ・ろ・が！

カードが使えません！ キャッシュのみでのお取り扱い。T/C（トラベラーズチェック）は持っていたものの、もちろん使えるはずもなく、とりあえず、おとり置きしてもらって、現金化しに行くことに。もう疲れきって、足はだるいし、暑いし、フラフラ。ところが、途中でアイスクリームを食べてしまうとあら不思議！ 疲れが吹っ飛び、すごく楽になってしまったのです。

ランナーズハイのような状態になってしまった我々は、結局電車に乗ることも無く、すべて歩いてアメリカンエクスプレスのオフィスまで行き、T/Cを現金化。わざわざ、ここまで来たのは、「手数料がかからないから」という、貧乏人根性だったにもかかわらず、なぜだか高い手数料を取られてしまった我々。あまりの疲



れと、靴欲しさに何も言うことができず（へなちょこ、またしても歩いてお店に戻っていったのでした。（この間、約3時間・・・電車に乗ったらすぐなのに、なぜだかたくなに乘らない2人でした）

帰り、電車に乗ればすぐに帰れるはずなのに、かたくなに電車に乗らず歩いて帰った我々。

のどの渇きMAX！暑さで記憶が飛ぶこと数回！椎間板ヘルニアによる腰痛復活の兆し！

・・・という恐ろしい結果となつてしまいました。

それでも、近所にある安くておいしい店でビールとソーセージを食らう。終わりよければすべてよし！ということ。



12日目 ベルリン博物館巡り

今日の歩数
10,564歩

今日は、ベルリン内の美術館や博物館を無料、もしくは割引で入ることが出来たり、市内の乗り物が乗り放題になる「ウエルカムカード」＋「ミュゼカード」(29ユーロ)を使って、ベルリン市内をぐるぐる巡ります。前の晩から、どのルートで行こうか悩みに悩んだ末、ドイツ技術博物館 ← ベルリンフィル ← レゴランド ← ペルガモンミュージアム ← エジプトミュージアム ← DDR博物館のルートで決定。

まずは、ドイツ技術博物館へ。本日は最寄り駅まで電車に乗って(前日のかたくなな行動を反省)行ってみると、なんと建物の上に飛行機がのっています！ もうこれだけで、なにやらとてもイイ予感がします。中に入ってみるとちびっ子たち(小学生や中学生が課外授業で来てるような感じ)がたくさんいます。いいなあ、こういう博物館に授業で来れるなんて。

この博物館は、もともと電車の車庫だったらしく、ものすごくたくさんの列車が展示してあります。列車の他に、上の階に行くと船の展示、さらにその上には飛行機の展示があります。船の展示スペースで、船の操縦が体験出来るようなところがあって、さっぱりよく分からないながらも「面舵いっぱい！」などとひとりでぶつぶつ言いながら舵をぐるぐる回していたら、後ろから話声が！ いつの間にか後ろにいた外国人の人々が、私の操縦する船のモニターを見て何か話しているようです。ちよっぴり恥ずかしくなって、その場を離れたのでした。(こういう時に限って、別行動な私・・・)

他にも、カメラやフィルムについての展示や、カバン作りだったりとか、金型押しの技術だとか、本当に興

ドイツ技術博物館



プレス機の前で 金1枚の
車賃も2人。
この技術者、いいおじい
が、ドイツ語で 言えてや
ない。???
いはらいて 買ひこる 我々
これらを くやました。



味深い内容！ ベルリンに行った際には、是非立ち寄るべきですよ！
この旅で、一番面白い博物館だったかも。

かなり後ろ髪ひかれつつも、まだまだ見所は盛りだくさんのベルリン。
とりあえず、お昼過ぎには移動。まずはベルリンフィルでチケットが取
れるか聞きに行つて（ほぼ日本語とジェスチャーで聞きました。もちろ
ん、当日券など売りきれていたので断念）、最近ベルリンに出来たレゴ
ランドへ向かいます。

レゴランド初の屋内型！ こういう屋内型にありがちの、しよぼい展
示になっています。（しかも、雨の日で混雑）なんせ我々、2年ほど前に
本場デンマークのレゴランドに行っていますから、目が肥えているので
す。特に、乗り物がしよぼかった。

さらにレゴランドに行ったら、ここから別行動。「ペルガモン美術
館」や「エジプト博物館」、「DDRミュージアム」を駆け足で巡りま
す。疲れきって、腰が痛いぞ。（腰痛持ち）ベルリン大聖堂はドームに
登ることが出来るのですが、断念しました。もちろん、階段で登ること
になるので、へなちょこ腰痛持ちには危険すぎるからなのです。

それにしても、電車やバスを使うだけでこんなに楽ちん。なんで昨日
はかたくなに乗らなかったのか自分自身でもよくわかりません・・・。



13 日目 白くまクヌート！

今日の歩数
26,120歩

ベルリン動物園には、今アイドルがいます。白くまの子供「クヌート」くん！ものつすごいカワイイです。クヌートは、母グマが育児放棄をしてしまったため、人間に育てられたホッキョクグマ。ちなみに、日本には愛媛県立とベ動物園に、白くまピースというクヌートよりお姉さんな子がいます。

とにかく、クヌートは今、かわいい盛りです！動物園に行く前から、ベルリン市内はクヌートのぬいぐるみだの、ポストカード（一部怪しげなものアリ）だのが売られていて、うっかり買ってしまいそうになるのをどうかこらえていた私……。我慢、我慢の日々だったのです。動物園に行ったら、たくさんグッズが売られているはず！と意気込んでいたものの、意外にグッズが少なかったのです。

どうやら、クヌートくんは、でてる時間が決まっているようなので、それまで広くて綺麗な園内を見て回ることに。なんとこの動物園、クヌートというアイドルがいながら、動物界の元祖アイドル「パンダ」様もいます！しかも、なんだか近いぞ！（ガラス越しだけど）うらやましい。

他にもいろいろ見て回ろうかと思ったけど、なんとなく早めにクヌートのもとに行かないといけないような予感がして、ちょっと早めにシロクマ舎へ。すると、そこはもう黒山の人だかり！みんなクヌート目当てで来ているようです。これ以上前に行けないように柵もしてあって、オトナはもちろん後ろの方からしか見ることができません。でも、ちびっ子は前に方に行けるようになっていて、大喜び！いいなあ、ちびっ子。でも、その中に東洋人のおばちゃんが強引に割って入っている……。ああ、恐ろしい★



14日目 ブレーメンの音楽隊

4泊したベルリンともおさらばして、ドイツ北部の港町ハンブルグに移動します。久々の移動。リュックが重い。それでもなんとかハンブルグについて、この旅出会った中で、いちばん仕事の出来る観光案内所のお兄さんにとってもいいホテルを紹介してもらい、まずは荷物を預けます。

さて、本当は今日「ハンブルグの市内観光」をするつもりだったんだけど、いろいろ考えた結果、ハンブルグから足をのばして、ブレーメンへ行ってみることにしました。ブレーメンって、もちろんあの「ブレーメンの音楽隊」で有名なあの町です！ところが、ブレーメンの駅に着くと、なんと雨。しかも、大雨！町並みはかわいいんだけど、なんせ激しい雨！（くどいようですが）とにかく寒いし、どんどん雨はひどくなるし、ひとまず教会に逃げ込みます。定番の塔登りをもちろんやって、雨のブレーメン市内をぐるりと見渡します。

うーん、晴れていたらもっと良かったのになあ。残念ながら、大雨のため遠くまでも見れず……。でも、せっかくブレーメンに来たからには、大雨であろうがなんとしても「ブレーメンの音楽隊」の像がみたい！

ところが、そんなに広い町でもないのに、どうしてもあのロバどもが見つからないのです。教会で、売店のおばちゃんに聞いたところによると、「教会のドアを出て、右に曲がるとすぐ」と言っていたようですが、探せども探せども見つからない……。もう、あきらめかけたその時！いました！

とてもひっそりとした様子で彼らは佇んでいたのです。でも、「触ると幸せになる」というロバの足は金色に輝いています。まぎれもない本物！大雨の中で写真撮影したのでした。思い出づくりです。雨だから、

今日の歩数

16,764歩



大雨の中、
20分も彷徨う……

あんまり町の中をゆっくり見ようとは思わなかったんだけど、カワイイおもちゃ屋さんがあったので入ってみました。これがまた、カワイイエコバッグ発見！お土産に最適だわと思って大量購入。

なんとなく高いな……と思ったものの、腹痛のため退避！あとでどうしても気になったので、トイレの中でレシート確認！（ここら辺がへなちょこ★）なんと一つ打ち間違いがあり、すごく高くなってる！天気が悪いものの、もう一度お店に戻ります。Mちゃんにいつまでも頼っているわけにはいかん！と思い、意を決してひとりでレジへ。レシートと、実際に買ったバッグをずらりと並べ、発した一言目は、

「えつとお……」→もろ日本語やん！

「レシートの打ち間違い部分を指してこの金額がおかしくって」

日本語で話しちゃってます。↓一応、ゆっくりと。

「1、2、3、4……」→レシートと指さし確認。（一応英語）

「ほら、やっぱりおかしいの」→はい……。もちろん、日本語です。

後ろで、Mちゃんは大爆笑。いや、でも私けっこう真剣なのですよ。とりあえず、こちらの意図は伝わったようで、さっきレジを打ってくれたバイトのお姉ちゃんに、オーナーっぽいおばちゃんがレジの打ち方をもう一度指導。

そして、ちゃんと返金してくれたのです♪こうして、「気合いさえ入れれば、

日本語でもどうにかなるわ！ という、間違った考えを持つようになってしまいました……。そうしてやっと、一応目的は果たしたことだし、電車の時間もあるので、とつととハンブルグに帰って行ったのでした。



15 日目 またしても・・・

今日の歩数
27,369歩

港町ハンブルグに来た理由の一つ。それは、この「檻のない動物園」ハーゲンベック動物園に行くこと！
ここは、檻がなくって、堀で動物たちとの仕切りがある動物園。餌も売っているので、動物たちに直接手渡しでエサをあげることができます。

まず入って何にびっくりしたって、このゾウの近さ！ しかも、すごくたくさんいます。これだけで、大のオトナ2人が大騒ぎなのです。いきなりテンションが上がってしまつて、写真は撮るわ、餌を手渡しするわ、鼻息にまで大興奮！ でも、ここで一番夢中になったのは、モルモットとウサギ！ほんと、まんまるで小さいの！ このウサギの愛らしさと言ったらたまりません。

Mちゃんとは、ここでお別れして、私はもうしばらく園内を散策。懲りずにここでもスケッチブックを出すものの、なんせ、遠足中のチビッコたちがたくさんいるので、もちろん早々に断念……。まったりと動物たちを見て過ごし、お昼過ぎには街へ移動。教会や、旧市街、港町だけに船の博物館などを見て回ります。

船の博物館では、昔の船旅の様子を無表情な人形を使って展示しており、その人形の不気味さに、「呪いの蠟人形だ！」と、ひとり勝手にビビって早々に引き揚げたりと、相変わらずのへなちょこっぷり。

柵がなく、大きな溝で
かこってあるこの動物園。
エサやりを手渡して
できます。



歩き疲れたので、勇気を出して初めて一人で入ったオープンカフェは、なんと「寿司バー」のオープンカフェ！別に寿司を食べたわけではなく、カプチーノを飲みましたけど、なんとなく不服。わざわざ、何もドイツまで来て寿司バーに入らなくてもねえ。記念すべき、1人オープンカフェデビューなのに！

ほんと、恐ろしいほどのへなちょこっぷりだったのです。

そういえば、ここハンブルグで、初めて携帯がつかえることが発覚しました。ドコモショップで聞いたときには、私の携帯は海外ではつながらないと聞いていたのに、ちよっと電源を入れてみたらアンテナが3本たってる！急に日本が近くなった夜でした。

聖ミハエル教会のエレベーター



聖ミハエル教会のドームにあがるには、旧式のエレベーターを使います。たまたま、若い男子と二人で乗った私は、勝手に悪い想像をして彼を怖がり、屋上に着いたとたんにドアを開けて飛び出そうとしたものの、結局重すぎて開けることが出来ず、あんなに警戒していた青年に助けを求めたのでした。

私の心理を読んでいたのか、ものすごく笑われました・・・。
でも良い青年でよかった！ 勝手に警戒してごめんなさい！



16 日目 オランダへ

今日から、オランダ入り♪ 当初は、アムステルダムに行ってから、ユトレヒトにはいる予定だったけど、けっこうアムステルダムは治安が悪いとの情報にびびる我々……。あつさりと、ユトレヒトのみのオランダ入りということに決まりました。

オランダに入ってビックリしたのは、すごく自転車が多いこと。ちゃんと自転車用の道路もあり、交通ルールもしっかり整備されているみたい。あとは、運河が町のいたるところにあって、いい雰囲気をかもし出します。お花もキレイだし、町並みもキレイだし、そこには運河が流れていて。そして、お店がカワイイの！これぞ、思い描いていた「THE ヨーロッパ」って感じ。いや、今まで巡った町もヨーロッパだったんだけど、ちょっと、思い描いていたものとは違ったのですよ。とにかく、この町はカワイイのです！

あと、ユトレヒトは、うさぎのミッフィーちゃんでおなじみのディック・ブルーナ氏の住んでいる町！いゝろんなところで、ミッフィーちゃんと出会えます。町はずれに、ミッフィーちゃんの像があるらしいので行ってみると、ひっそりとありました。ところが、ミッフィーちゃんの前にベンチがあって、そこでずーっと喋っている人々がいます。うーん、撮影しにくい……。ちょっと待ってみたけど、楽しいお話はなかなか終わらそうもないので、彼女たちが写らないように、彼女たちとミッフィーちゃんの間立ちばかり、いきなり写真撮る東洋人。あんまりめずらしい光景ではないのか、何のツツコミも入らず終了。（つつこまれても、オランダ語がわからないので、どうしようもないんだけど）

今日の歩数

15,175歩

オランダは自転車王国だ、だ!!

坂の無い(りない?!)国オランダは、

自転車に乗っている人がとても多いのだ!



使い込んだ
自転車...

つけてる
自転車用 バッグ

けっこうカワイイ柄を
つけてる人が多かった
のに、



どこの店にも
売って
なかった!!

何が入っているのか、
110:110の が、エ"ん。

最初、ユトレヒトに着いたときは、観光案内所は駅の近くにないし、重い荷物を背負ったまま、迷い迷いながら町中を歩き回り、やっとたどり着いた観光案内所でも散々待たされて、どうなることかと思っただけ、全
て帳消しになるくらい、ステキな町だったのでした。



17日目 ミッファイちゃん！

オランダに来た一番の理由。それは、もちろんミッファイちゃんの作者であるディック・ブルーナ氏の住むユトレヒトに行つて、彼の博物館「Dick bruna huis」に行くこと！とりあえず、ミッファイちゃんは後のお楽しみということにして、早起きして、チーズ市があるという「ゴード」へ。（ゴードチーズの「ゴード」は、町の名前だったのでしょ）これがまた早く着きすぎて、祭りは始まっていない感じ。某ガイドブックによると、「民族衣装を着た若い男女がでっかいチーズを投げあったりして、測量所へ運ぶ」的なことが書いてあったので、けっこう楽しみにしていたのです。

お腹が空いたので、まずは既に始まっていた朝市でパンを買う。もちろんこれが朝ごはん。マクドナルドの1ユーロコーヒーを買つて、運河沿いのベンチに座つての朝食。そして、その前を通る集団登校中(?)の子供たち。ものつすごい珍獣でも見るような眼で、我々を凝視しつつ歩き去るチビッコ……。確かに、東洋人が朝っぱらからベンチでパンを食べている姿なんざあ、見たことがなかったんだろうなあ。

とにかく、まだまだ時間も残りそうだったので、町の中をうろろろ見て歩く。早すぎて、まったく店も開いていないし、ピンボー（現金が乏しい）で、教会に入るお金もケチる我々。全くのへなちょこだわ。

しょうがないから、またしてもうろろ。町並みは、文句なしにかわいらしく、街灯にチーズのモチーフを使っていたり、かわいらしい猫がいたり、実際にチーズ屋さんがあって、ディスプレイも可愛かったりと町中を満喫。でも、チーズ市は始まらない……。

今日の歩数
24,088歩

・・・結論として、この日はチーズ市というイベントはなく、ただの朝市があったということになりました。残念な結果だけでも、チーズくらいは買って帰ろうと店頭に行ったものの、どれがおいしいのか分からないし、しかも、こんなにたくさんいらぬ。というわけで、チーズすら買わずにユトレヒトに帰って行ったのでした。やっぱり、へなちょこだわ。

ユトレヒトに帰ったからには、まずは何をにおいても「dick bruna huis」に行かなければ！ 天気も悪くなってきた、テンションも下がりはなしの二人は、元気を回復すべく、とにかくミッフィーちゃんに会いに行きます。この博物館は、よっぽど日本人が来館するらしく、全ての説明が「英語・オランダ語・日本語」でした。（スバラシイ！）しっかりと解説を読むこともできるし、とにかくたくさんのミッフィーちゃんに出会えます。そして、日本であったミッフィー展でも見ることが出来たけど、ブルーナ氏の丁寧な仕事っぷりがわかります。シンプルなものこそ、美しく、そして難しい。でも、人の心を打つことができる絵はほんの一握り。

「続けることの難しさと大切さ」が伝わってきましたよ。

とにかく、オランダに行く日本人は、絶対にここに行くべきです！

ところでこの日は久しぶりの自炊。どうしても日本の味が食べたくて、作ったものは「うどん」（乾麺を持つてきていたのです）2泊しかしないので、「具」の材料は断念。素うどんに卵のみ。それでも、久々のしゅうゆ味！ やっぱり、おいしい！



18 日 目 古城ホテル

今日の歩数
16,024歩

ユトレヒトから、またまたドイツに戻ります。朝食の時間を早くしてもらったものの、電車の時間に合わない！ 15kgの荷物を背負って、駅へ向って走る走る！ この旅に出て、本当に体力がついた気がします。ここから電車に乗って、ドイツ入り。バツハラツハという町にある、なんと古城ホテルに泊まります。あ、この古城ホテル、正確に言うとユースホステルです。17ユーロで、お手軽古城体験♪

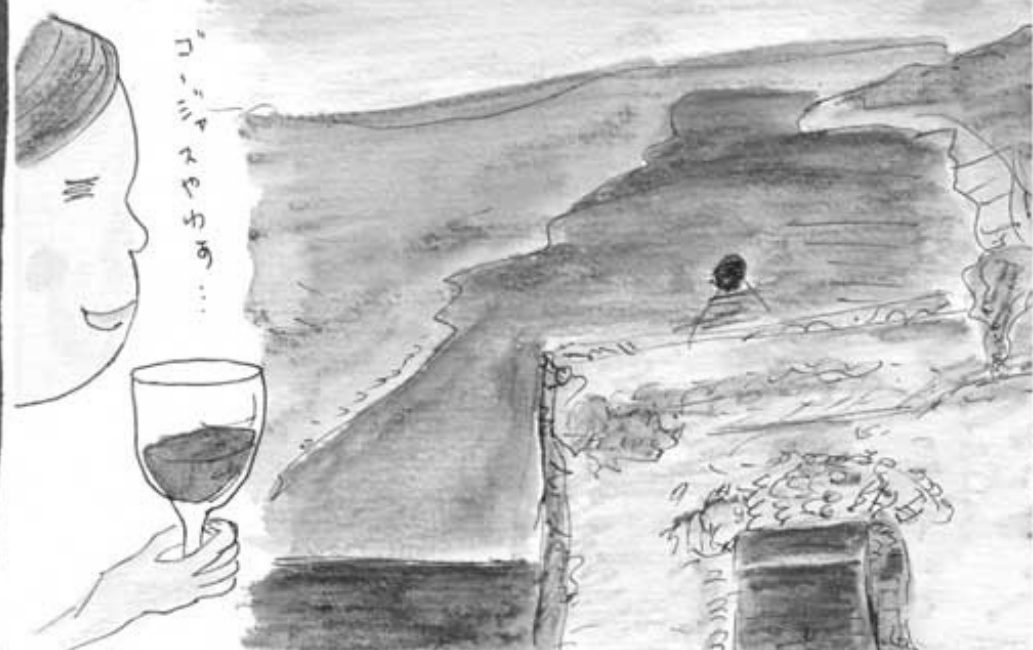
駅に着いたら、コインロッカーに荷物を入れて、ライン川クルーズだ！ と意気込んでいたものの、なんとバツハラツハは無人駅！ しかも、テロの影響かコインロッカーもなく途方に暮れる我々。駅から見上げると、はるか山の上に本日のお宿のお城が見えます。とりあえず、荷物をユースまで置きに行くことにしました。階段やら山道やらを上り続けること30分・・・あまりの荷物の重さに、本当に死にそうになりましたよ。こうしてやっと到着！ 汗だく、雨も降ってきて足元はドロドロ・・・

着いてみると、ちびっ子たちがたくさんいて、決して優雅な感じでもなかったんだけど、それでもお城からの眺めは美しいものです。とにかく先にチェックインして、またしても山道を下り、電車に乗ってマインツという街に行ってみました。帰りは、ライン川を船で帰ってくるつもりが、時間がなくなって断念。（何のためにここまで来たのかしら？ほんと、へなちょこですわ）

バツハラツハに戻ってきてても、既に店は閉まっている。それでも、かわいらしい街並みに、かなり落ち込んでいたテンションも急上昇！ 暗くなる前に写真を撮りまくって、荷物も少ないので、軽い足取りでお城に戻り

古城から ライン川を眺めながら ワインを飲む。

一見 優雅でいいけど、 ユートホステルなので。



ます。ご飯は軽めにパンだけ食べて、食堂へ行ってワインを飲む。ライン川の眺めを楽しみながらのワインは本当にステキ。

たいして飲めないのに、またしてもおかしなテンションになり、部屋に戻ると男子が2名。そういえば、スタッフの手違いで男女混合の相部屋でした。そのうち一人が関西外大に留学経験のあるオランダ人で、英語と日本語で「関西のおばちゃん」について熱く語る！「カーリーヘア」だの「アニマルプリント」だのについて、まさかこんな所で話すことになるとは！

こうして、ドイツ最後の夜は更けていくのでした。



19日目 いよいよフランスへ

今日の歩数
14,932歩

さて、いよいよ最後の国、フランスへと向かう日。バツハラツハの古城ユースホステルの朝は、雨でした。まだ暗いうちに準備をすませ、もりもり朝ご飯を食べて駅へ向かいます。雨が降っているから、もちろん駅への道はどろどろ。(山道なのです) 15kgの荷物を担いで、どろどろの山道を下る！ なんてスリリングなの！

いえ、これは喜んでいるのではなく、困っているのです。慎重に、慎重に。途中一回滑ったけど、なんとかセーフ！ 無事に駅にたどり着くことが出来ました。

無事に駅にたどり着くのは出来たものの、切符を買うにもひと苦労。券売機がひとつあるだけのバツハラツハ駅。もちろん無人。今まで、駅の窓口で切符を買っていた我々の前に立ちはだかる、このドイツ語メインの券売機！ よくよく見てみると、英語表記に変更も出来たので、どうにか切符を買うことも出来ました。

フランクフルト空港から飛行機でパリに入る予定なので、空港まで電車で向かいます。電車の中で、たまたま出逢った女の子は、どうやら日本語を勉強中の様子。我々が日本人と気付いて、恥ずかしそうに話しかけてきてくれました。日本語で、数字・曜日・月などを次々に発表(?)していく彼女。賢すぎます。そんな彼女はドイツ人で、ドイツ語、ラテン語、英語、フランス語、日本語を学校で学んでいるらしい。凄いなあ。

そうしているうちに、あつと言う間にフランクフルト空港へ。うっかり早めに搭乗口に行ってしまったおかげで、「ドイツ・ビールとソーセージ食べ納め」の野望も達成出来ず、ぼんやりと飛行機を待つ、相も変わらず、へなちょこな2人でした。

10~13日目
ハッセルにでる
お宿は

Hotel - Pension

① 2" 当日予約

Fasanenstrasse 73

tel: 030-8816713

200馬尺からすぐです!

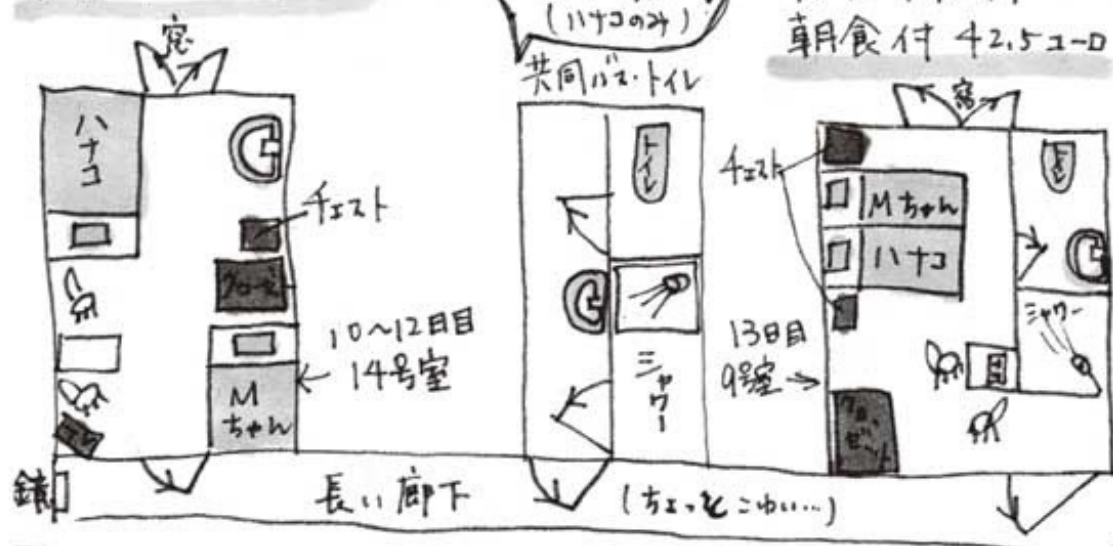
Fasanenhaus

最初泊をお願いして、その後、迷泊しました!

10~12日目
バス・トイレなし
朝食付 1泊 30ユーロ

ちよと
寝持ち悪い...
(ハッセルのみ)
共同バス・トイレ

13日目
バス・トイレ付
朝食付 42.5ユーロ



① 2" 予約

入り口は、受付の
トにあけてもらわないと
入れない。
晩担当のあいはあひ
め、あちこち!!

このホテルのシャワーは
かなり革仕易度が
高いのです。
水が熱湯しか出ないの!



14, 15日目
ハッセルの
お宿は

HOTEL Kieler Hof

ハッセル馬夫から
徒歩3分!

朝食付 26ユーロ
(バス・トイレ別)

ドイツ・オランダの
宿

16,17日に
オランダ・ユトレヒトの
お宿は

① で当日予約

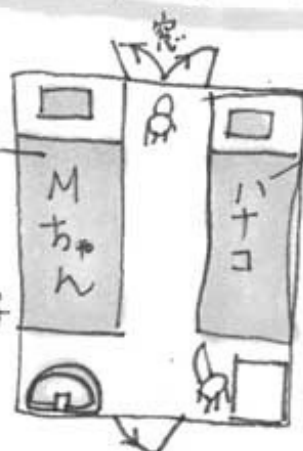
Strowis

Boothstraat 8 Phone: +31(0)30 238 0280

4人ドミトリー 1泊 17.5ユーロ 朝食 5ユーロ

キッチン付の宿だったので
うどんも作って食べました。

2F Mちゃん
1F
1泊目学生さん
2泊目おとこさん



2段ベッド
2F ハナコ
1F スーシー
(いつも寝ている)

日本からネット予約

古城ユース
シスター・マリア・ユース

18日目
バミラララの
お宿は

女性専用ドミの
予定が、手違いで
男女混合ドミに!

男女混合ドミトリー 8人部屋 (バス・トイレ付)
1泊朝食付 17ユーロ!!



フランス



夜のモンサンミッシェル。



風船が、パリっぽい！？



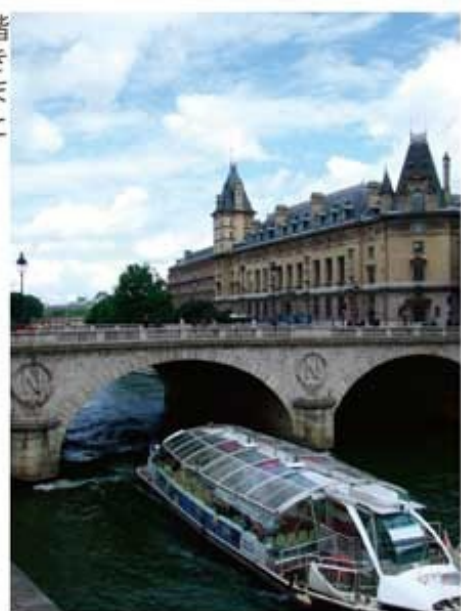
モンサンミッシェル。さすがは世界遺産！



メトロの階段の落書きも、ここまですごいアート！



やはり、エッフェル塔はステキです。



セーヌ川クルーズ。(乗ってない)



サンマロの城塞。詳細は不明。

ゲイパレードに参加中のお姉さん。

サービス満点のステキな方でした！



アールヌーボーなメトロです。



こんな派手派手しいメトロ入口もあります。



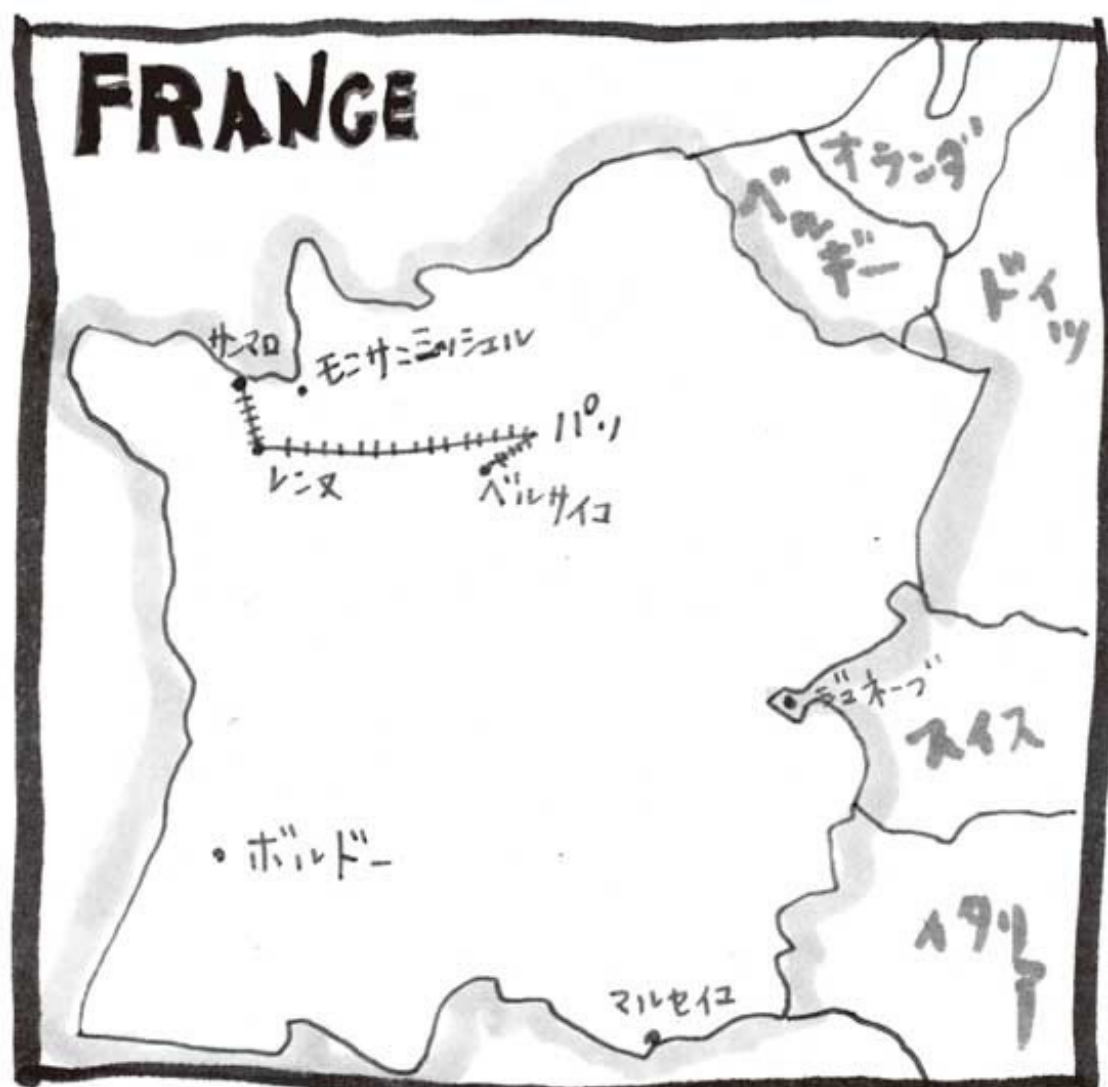
凱旋門を下から見ると、また違った趣が。



こんな螺旋階段の登っていくと・・・



凱旋門の屋上からみえる、放射状の道。



フランス・旅のおさらい

フランクフルトからパリのシャルル・ド・ゴール空港に降り立った我々。まずは宿探しをしようと思ったものの、思うように安くていい宿が見つからない。どうにかホテルを見つけたし移動したもの、パリは今まで巡ったどの町よりも都会で、刺激的で、ちよっぴり怖い街でした。

一旦パリをでて、モンサンミッシェルへ。さすがはフランスの誇る世界遺産。とても幻想的な風景と出逢い、またパリに戻る。アパルトマンを借り、1週間「暮らすように」パリを満喫。そして、いよいよ日本へと帰国するのでした。



20日目 花の都パリ・・・の裏側?!

今日の歩数
21,451歩

いよいよ、今日から花の都パリですよ。昨日はフランクフルトから、飛行機でパリまでひとつ飛び！ 実は、ベルギーに2泊ほどしようかと思っていたのですが、宿が取れず断念。そこで、観光案内所でパリでのホテルをとろうと思ったら、これまたないのです。（高いところは空いてるんやけどね）パリで宿無し?! これは、やばそうな雰囲気です。3泊で探していたのをとりあえず2泊で手を打ち、オペラ座近くのホテルに向かいました。バス・トイレ共同だけど、お部屋はかわいいし、上機嫌。なんだかパリっぽいぞ！ と、舞い上がる。パリ初日のディナーは、ビンボー旅行の友「マクドナルド」。我々、へなちょこなので、急にこんな都会に来て、更に物価も高く、お金もなくって、結局ビビりまくり、初日はおなじみの店に行ってしまったのです。でも、でも！ とうとう来ましたよ、花の都パリに！

パリでの初めての朝。朝っぱらから大事件が発生しました！ なんと、共同トイレのトイレットペーパーがありません。ふうん、そんなこと・・・と、ちょっと小バカにしているでしょう？ でも、朝っぱらからトイレットペーパーが無いなんて、大事件なのです。絶対に同じフロアに泊まっていた、乳飲み子を抱える若い夫婦が勝手に持っていったと思うんだけど。

そんなことはさておき。今日はパリの観光に徹します。まずは、ホテル近くのオペラ・ガルニエへ。外でも豪華絢爛。くらくらしました。次来た時には、バレエとかみたいものです。

さて、よくよく考えると、宿は2泊しか取れてません。3泊分宿を確保して、その後モンサンミッシェルに

移動する予定なので、なんとかもう1泊分宿を確保しなければなりません。そこでとりあえず、モンパルナス駅に向かい、観光案内所で宿を探すことにしました。ところが！なんと着いてから、モンパルナス駅には観光案内所が無いと気づくへなちよこ2人組。(ガイドブックを持っているくせに、チェックが甘く、痛い目にあう二人なのでした)探せども探せども、宿はおろか観光案内所すら見つけられない。いろんな不安が押し寄せて来ます。急いで地図を確認すると(ていうか、初めからちゃんと見ておけばよかった!)、エッフェル塔に観光案内所があるみたい。しかも歩いていけそうな距離なのです。・・・と、ここでこんな事を思ってしまったおかげで、ここから先、さんざん歩く羽目になってしまったのでした。

高い建物を目標に歩いたときによくおこる現象として、「見えているから近いはず」という錯覚を起こしてしまうことがあります。もちろん、エッフェル塔もその例にもれず、「見えていて、もうすぐ着きそうなのにつかない」という現象が発生。散々惑わされた我々。

結論・・・モンパルナス駅からエッフェル塔へは歩くもんじゃない。

結局、エッフェル塔はとても混んでいたもので、塔の上の展望台に上がるでもなく、さらにはなぜか観光案内所もなくなっていたので、すごすごと立ち去る2人。観光案内所は南駅にあり、そこまで行ったのでした。なんとか宿も取れたし、良かったですわ。

微妙に時間も余ったので、よく雑誌なんかに乗っている「クリニャンクルの蚤の市」に行ってみるとすごい人！そしてなんだか危険そう。荷物を小脇に抱え、気を付けて歩いていると、誰に声をかけられる(怪しげな人たちが、明らかに偽物くさいアクセサリを観光客に売り付けていたのです)こともなく、スムーズに進むことができたのでした。(これはこれで複雑な気分)

M

21

日目

パリの下見

道に迷う...

パリ2軒目のホテルは、モンパルナス駅のすぐ近く。のはず...。
予約してもらったインフォメーションのあはれさんが〇印をつけてくれた
地図上に、目的のホテルは、たが、たがてした。

こっちちゃう?



15kgの荷物が肩にくっ込む朝。

パリ3日目です。昨日何とか見つかったホテルは、
モンパルナス駅の近く。(明日の朝は、この駅から
モンサンミッシェルへ向かいます)見つかるまでには
いろいろ大変なこともありました。とにかくホ
テルに到着! 荷物を預けてとりあえず郵便博物館
へ行きました。
そういえば、この日の朝食はあこがれの朝マック。
「わざわざ、パリに来てまで?！」と思われるかもし
れませんが、普段実家暮らしの我々には、なかなか
食べる機会のないので、たまにはうれしいことなの
です。ちなみにメニューは、「ベーコンエッグマフ
インとヨーグルト、そして紅茶」で2・95ユーロ也。
(当時のレートで約500円)
さて、パリの郵便博物館はモンパルナス駅の近く
にあります。たまたま特別展をしていたにもかかわ

今日の歩数

28,839歩

らず、ただ今改修中のようで無料で入ることができました。この特別展、もちろんフランス語なので、何かなんやらわからないのですが、入口に入ってすぐミニチュアの遺跡は、Joseph Cadierさんという人の作品。細かいところまで作り込んでいるこの作品はとても面白く、子供たちが夢中になって見えています。他にもレースと針金で作る作品がステキだったMarie-Rose Lortetさん。繊細で美しかったので、帰国してから参考にして、イラストユニットのグループ展でレースのポストを作っていました！

午後からは、マドレーヌ寺院へ。中でのんびりぼんやりしつつ、これから始まるショッピングのルートを考えます。というのも、ここマドレーヌ寺院のある場所はショッピング街。歩いているんなお店に行くことができるのです。でも結局この日は、うろうろと歩き回って下見だけで終了。この下見が、のちのお買い物で活かされたかどうかは・・・微妙なのですが。

明日はいよいよモンサンミッシェル方面へ。一歩手前のレンヌに移動します。



22日目 ちょこつとレンヌ、ちょこつとサンマロ

本日は、世界遺産モンサンミッシェルに向かうべく、まずはレンヌという街へ、TGVで向かいます。パリからレンヌまで2時間半で行くことが出来るの。

レンヌでは、ユースホステルが空いていたのでそこに荷物を預け、せっかくユーレイルパスを使っていたので、そのままサンマロという町まで行きました。まったく事前情報なしにとりあえず「海辺の町だからフィッ

今日の歩数
19,077歩

シュ&チップスがありそう」という理由だけで行った町。（ハンブルグで食べて、おいしかったので）残念ながらフィッシュ&チップスなかったのですが、意外にも街はカワイイし、海辺にはお城（要塞）らしきものがあるわーい！ とテンションが上がったものの時間切れ。電車の本数が少なかったもので、なんと滞在時間は20分だったのです。

そうなの、ちよつと私たち、海が見たかっただけなの・・・。

（なんか、詩的なことを言つてしまかしてみる）

レンヌに戻ってきたらまさかの雨！ お宿までの道のりはけっこうある。電車で帰る選択肢もあったはずなのに、やはりぶらぶら歩いて帰る我々。カワイイ町並みに「あえてのレンヌ語学留学、いいかもしれない」なんてつぶやくMちゃん。それはそうと、この日の夕食は久々に肉！ レンヌで、あえてのケバブです。



23日目 モンサンミッシェル！

本日は、いよいよ世界遺産モンサンミッシェルへ向かいます！ 昨晚は、今までで一番寝心地の悪いベッドに横たわり、ものすごく腰痛に悪い感じで眠りについたものの、この日はとうとうあこがれの地モンサンミッシェルに向かう日です。世界遺産にも登録されているモンサンミッシェルは、フランス北西部に位置します。ここまでは、パリからTGVでレンヌまで2時間。レンヌからはバスで約2時間半かかります。この日から、

今日の歩数
21,835歩

ジュネーブでお世話になったTちゃんとまた合流。3人で、いざ世界遺産へ！

モンサンミッシェル本島から少し離れたホテルで、荷物を降ろしてチェックイン（ここが、今まで泊まった中で一番豪華なホテルだったかも）し、約20分ほどかけてのんびりモンサンミッシェルへ向かいます。あえて、道路ではなくその下の水辺を歩いているとぬかるんでるし、たぶん牛のう●こがたくさん落ちてるし大変！

何とか踏まずに島内にたどり着いたのでした。島内に入ると町並みは中世そのまま。ただし今はほぼ観光用にレストランかおみやげ物屋さんになっています。確か昔は牢獄とかになっていたようで、牢獄の博物館のようなものがたくさんありました。（入ってないけど）

実は、このモンサンミッシェルの名物が、ふわふわのオムレツだということは一サチ済み♪ そこで、まずは腹ごなしです。ふわふわオムレツと普通のオムレツ、そしてムール貝を頼んで豪勢にランチ！ 意外に一番おいしかったのはムール貝でした。（オムレツは味が薄かった・・・）

さて、ここモンサンミッシェルは、増築に増築を重ねた修道院。気がつけば増築しすぎで、このような奇怪な姿に！ そんな奇怪な修道院の中も見学できます。修道士のライフスタイルと地形を考慮しての建設。しかも周りは水浸し。（ちよつと違うか？）そりゃあ、今でもそうだけど、中世の人々には神秘的なものに見えたことでしょう。モンサンミッシェルの島内ではなく少し離れたホテルに泊まったので、晩にぶらぶらライトアップされたモンサンミッシェルを堪能。ま、この撮影にはイラストに書いてあるようなエピソードがあったので、やつぱり大笑いしながら夜景を眺めていたんだけど、これもまた楽しい思い出。

モンサンミッシェルは、さすがは世界遺産。一度行ってみるのには超オススメです。（でも、私は1回行ったらもういいかも★）

夜のモンサミッシェル





24日目 ある意味、贅沢な時間

昨日、あんなにテンション高く「モンサンミッシェル！ モンサンミッシェル！」と言っていたにもかかわらず、朝起きると一転してあまり興味もなく、景色を観に行くでもなく、部屋で昨日買いこんだクイニアマンを食べ、まったりとした時を過ごす3人。そう、我々は熱しやすく冷めやすい、そして面倒くさがりなへなちよこなのです。この現象は、スイスのマッターホルンの時にも起こったような覚えがあります。

さて、朝食を食べていよいよパリにもどります。早めにパリに戻ってチェックインを済ませ、街をぶらぶらしようと思ったら、ユーレイルパスを使えるTGVは15時台。レンヌに到着したのは11時。しょうがないので、ロッカーに荷物を預け、レンヌをぶらぶらしようと思ったら、テロ対策でコインロッカーがない！ 15kgのパックバックを背負ったまま街をぶらぶらするのは辛すぎます！

という訳で、なんとレンヌの駅で時間をつぶすことにした我々。貴重な旅行の時間がある意味この上なく贅沢に過ごす我々。パニーニを食べたり、アイスクリームを食べたりして、のんびり過ごしました。その間、現金が少なくなってきたので、キャッシングしようとして失敗したり、ちよいどいいタイミングで父から電話があったりと、いろんなハプニングはあったのですが。

なんとかパリに戻って、Tちゃんとはここでお別れ。そして、今日から1週間程、パリのアパルトマンでの生活です。小さなキッチンも付いているので、スーパーで買い物して、日本から持ってきたラーメンで夕食！ ひさびさに食べる麺はやっぱおいしい。明日からは、パリでの暮らしが始まります。

今日の歩数
15,690歩



25日目 気分はパリジェンヌ！

今日の歩数
18,750歩

昨日からパリに滞在しています。しかも住まいはアパルトマン。Hotel du Mondeというホテル(アパルトマン?)で自炊できるのがけっこう良かったです。日本語は通じないけど、英語は通じます。かなりフランス語なまりの英語だけど。

ホテルはバスチーユ広場に近かったのですが、まずはぶらぶらとマレ地区あたりのお店めぐり。この日から別行動でも良かったんだけど、私がMちゃんのルートに便乗する感じでついていきました。カワイイ服屋さんが多いながらも、まだまだパリには滞在するし、ということと財布のひもは固い二人。

とりあえず、おなか減ったし、街の食堂でランチです。とにかく、全く読めないメニュー。なんで、フランス語の手書きカフェメニューって、あんなにかわいいのに、全く読めない位字が汚いんだろう？ とりあえず、値段や周りの人の食事から推測し、頼んでみたらどうんとデカイステーキ！

久々に肉！ わーい♪ と食べたら

・・・超特大のレバーでした！ (ちよつと苦手) 苦勞して飲みこみましたわよ。

気を取り直して、街並み探訪。カワイイ郵便局のワゴンがあったり、明日の朝食用のバゲットを買ってパリジェンヌを気取ったり、いろんなかわいいお店を見たりと大忙し。ちなみに観察によると、カワイイパリジェンヌはほぼ全員、黒いぺたんこバレエシューズを履いておりました。Mちゃんはずっと買うつもりだったらしいので、一緒に見て回ることに。でも探すとないの。これがまた。

乙女 あるまじき状況

ずっといたいたジーンズを初めて

洗った。

バスタブでふみあらい。

ふみあめるとともに変化する
液体の色…。

どんだけ落ちていたのやら。



帰りはもちろんケーキを買って帰り

ました！ ミルフィーユ♪ お部屋で
紅茶をいれて、夕食後にまったりとい
ただきました。（ここがホテルと違っ
て、キッチン付宿のいいところ）

そういえば、パリはケーキも箱に入
れるんじゃないかって、紙で包むらしい。
すごい手早くて見事三角形に包んでく
れたおばちゃん、巧みな技に見とれ
てしまいました。

この日、上のイラストのようにこの
旅初めてジーンズを洗いました。

・・・驚いた。まさか、黄色い液がで
てくるなんて！ あまりの衝撃に、写
真を撮ることも忘れてしまい、イラス
ト（しかも白黒）でしかお伝えできない
のが残念です。



26日目　ゲイパレード！　他

今日の歩数
23,817歩

本日は、朝から洗濯です。昨日見つけた、ホテルの上階にあるコインランドリー。ジーンズはさすがに汚すぎて(前回参照)一緒に洗うことをためらったため手洗い(足洗い?)しましたが、他の物は一気に洗ってしまおうという訳です。その日着る分以外の服は全て持っていく、コインランドリーの中に入れ、洗剤を投入……。でも、動かない！　なんで?!　Mちゃんがフロントへ聞きに行ってくれたところ、どうやらこの洗濯機専用のコインをフロントで購入してから使わないといけなかった様子。無事動き出したのでひと安心したのでした。そして、出来上がった洗濯物は、ふんわりふっかふか！　手洗いとは違うこのふんわり感。洗濯機って素晴らしい！　乾燥機って素晴らしい！　1週間もパリに滞在、しかも自炊するので、本当に暮らすような生活になっています。本日も洗濯物トラブルのおかげで、当初の予定よりも遅めの出発。

本日の私の目的は、この3つ。

① 郵便博物館にてお買い物♪

② シャンゼリゼ通りの切手市にて、古切手の購入。

③ モンパルナス駅から、バスチーユ広場へと続く「ゲイパレード」見物。

まずは、ゲイパレードに行ったものの、始まる気配がなかったもので、先に郵便博物館へ行きました。郵便博物館はすでに数日前に行っているけど、今日はお買い物メイン。カワイイポストカードに、切手、オリジナルグッズ等を買いました。(今後、2、3度ここには来ることになるのですが……)

外に出るともうお祭り騒ぎ！ ゲイパレードが始まったようです。大きな音で音楽が流れて、きれいな格好をしたお姉さん（お兄さん？）たちや、腕を組む、手をつなぐ同性カップル。とにかくみなさん楽しそうで！

しばらく見学した後、シャンゼリゼ通りに向かい、切手市で大量に切手を購入。ちらつと、高級ブランドショップを冷やかし、おうち（アパルトマン）に帰っていききました。

さて、本日のおやつはチョコレート！ ビンボーなので一人2個ずつだけ購入しました。パリにはいろいろとチョコレートショップがあるので、目移りしてしまいます。でも、それなりに高いの。量り売りなんだけど、どれを選ぶか時間がかかってしまいます。だってどれもおいしそうなんだもの！



27日目 やっぱ日本が好きみたい

本日は、第1日曜日。パリでは美術館が無料の場合の多い素晴らしい一日！ もちろん、こんな素晴らしい日を逃すはずはありません。朝からルーブル美術館へ行ってきました。

開館前に行ったのにもかかわらず、すでに入り口付近は長蛇の列。みんなやっぱ、こんな素晴らしい日（＝タダの日）はチェック済みのようです。ものすごく広いのは知っているので、見たい作品だけガイドブックでチェックして館内を回ります。

見てみたい作品リスト

・「ミロのヴィーナス」

・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」

・「ハムラビ法典」

・「サモトラケのニケ」

・フェルメールの「レースを編む女」

くたびれました……。何なんだ、この広さは！ 何なんだ、このゴテゴテ感！

たぶんもう見飽きてきたんだと思います。西洋の豪華絢爛な芸術に。油絵よりも浮世絵！ 教会よりも、寺！ 何よりも、わびさびが恋しいのです。ここでちょっと休憩して、オープンカフェでオシヤレランチをいただき、ルーブル近くの装飾博物館と広告博物館、モード&テキスタイル博物館に行ってみました。こちらは残念ながら無料DAYではなかったもので3館共通入館料としまして8ユーロ払ったのですが、ここは本当に面白かったです！ 特に広告博物館はとても面白かった。世界のCMが流れていたり、ポスターが貼ってあったりと興味深いもの盛りだくさんでした。

最後はギメ東洋美術館へ。「パリまで来て、東洋美術館?！」と思われるかもしれませんが、日本のものが見たかったんです。そして、ここもタダで入れるし、浮世絵を見ることができ大満足。

でも、ここで私の腰は限界。もうちょっと見て帰るといふMちゃんと別れ、一足先におうち（アパルトマン）へと帰っていったのでした。一足先におうちに戻って、バスタブにお湯を入れ、のんびり入浴。海外に住んでいて、なんたる贅沢！

そして、本日の食後のデザートはライスプリン！ プリンの中に、ごはん……ごはんがー。

……食べれなくはないけど、やっぱり無理！



28日目 パリの観光案内

今日の歩数
11,418歩

ベタですが、本日は2階建て観光バスに乗ってパリ観光をしましたよ！

昨日購入しておりました「L'OpenTour PARIS」を使って、パリ中めぐりめぐってやる気満々。そういえば、このチケット買う時にカードが使えず、キャッシュで26ユーロ！超貧乏な我々にはかなり高価なお買いもの。なけなしの現金で支払って、すぐさまキャッシングマシンに走ったのでした・・・。（へなちょこだ）

さて、朝から優雅にフレンチトーストなど作って食べ、おうちの近くにあるバスチーユ広場のバス乗り場でバスを待っていても全く来る気配なし。かなり待ってからバスの2階に陣取った途端、今度は雨。しょうがないので1階へ移動。そしたら今度は、解説を聞くためのイヤホンが聞こえない。

恐ろしいほどの不運！

それでもなんとか、ノートルダム寺院で降り、観光客気分を堪能。ノートルダムは「Notre-Dame」と書いて「聖母マリア」という意味だそうです。実はメトロの駅名だの、地名だのこの名前、よく目にするんです。でも、本家本元はやっぱりこのシテ島にある大聖堂でしょう！ステンドグラスも美しく、中からも外からも楽しめる大聖堂なのです。

次は、やはり凱旋門へ。ここ凱旋門はくぐるだけでなく登れます。ここから放射状に道が伸びているので、上から見るとよくわかるのです。頑張って階段で上がらなきゃいけないのですが、お勧めスポットですよ！



29日目 雨のベルサイユ

以前来た時もなんだか感動したんだけど、あれから10年たってもやっぱりいいなと思った風景なのです。そして、この日のランチは今までで一番おいしかった！ シャンゼリゼ通りにある老舗のカフェ「フーケ」にてランチです。クロックムッシュとエスカルゴ（かたつむりつスよ！）、クラブハウスサンドと、ジュース。という、ほんと軽食って感じですが、ここのギャルソンも味も素晴らしい！（この旅で一番！）チップ代込でお値段はなんと今のお宿の1泊分くらい。でもいいの。ステキな時間だったから。

お昼を食べたらモンマルトル方面に行くというMちゃんとお別れしまして、もう一度同じコースをゆっくり回ってみました。粘土で作ったヤギの人形（こおと師匠）を一人で片手に持ちながら撮影……。隣に座った人は、さぞやおかしな女だと思ったことでしょう。

本日は、パリからちょっと足をのばしてベルサイユ宮殿へ。さすがはフランスの誇る名所！ チケットをかうだけでもものすごい行列です。腕に「北斗の拳」とタトウの入っている青年から、チケットを購入（13・5ユーロ！ 高すぎ）し、さて見学だわと入口に行くと、これまた長蛇の列。しかも、大雨……。洗ったばかりのジーンズは、またしてもドロドロになってしまったのでした。

何とか宮殿の中に入ると湿っぽいにおいが立ち込めています。雨の湿気と昔からある建物の匂い。世界史は得意じゃないけど、革命時はここまでフランス市民が押し寄せたのね。遠いのに。（いやそんな問題じゃない

今日の歩数
20,690歩

と思うけど)中はほんまに豪華絢爛です。住みにくそうで、かなわん感じですよ。ちなみに、ここの日本語ガイドはなんだか芝居がかっていて面白かったです。こちらに来た際は、是非とも借りて聴いてみてください。

さて、メインどころを観終わった後は、庭園に出てみました。雨はやんでいたけれど、何しろ広い！一応、グランダのプチだののトリアノンでも行こうかとひたすら歩くと、またまた雲行きが怪しい。しょうがないのでお昼休憩ということで、庭園の片隅にあるスタンドでワッフルを購入。でも大雨なので座るところもなく、立ちっぱなしで食べたのでした。でもおいしかった！熱いコーヒーで暖まったし。お天気が良ければ、水辺でのんびりできそうだったのですが、本当に残念な結果となってしまいました。

天気がまたよくなってきたので、ぬかるみに足を取られながらもグラン・トリアノンに到着。でも、ここまで来て、このグラン・トリアノンに入るには、さらに9ユーロもかかることが発覚！はい。我々へなちよこ隊は、もちろんそんな無駄遣いはできません。さっさとパリに帰りました。(今思えば、せっかくパリまで行ったのにどうして?!)

パリに戻ってからは、パレロワイヤルでのんびりしたり、迷いに迷ってたまたま通りかかったギャルリー・ビビエンヌというアーケードの中にあるおもちゃ屋さんでちびっ子のいる友達へのプレゼントを購入。その後もぶらぶらお買い物(主にウィンドーショッピング)を楽しんだのでした。



30日目　へなちよこアメリカ分

今日の歩数
21,900歩

長かった旅も、今日でおしまい……。明日は午前うちに、空港へ向かってしまうので、パリを満喫できるのは、今日だけなのです。

本日の目標は、

① モンマルトルでアメリカ気分

② お土産購入

この2点のみです！

ところで、パリの街で一番困ったこと。それは、無料トイレが少ない！最終日にして、とってもいいことを思いついた私。パリのメトロはとっても便利で、市内のいたるところに駅があり、しかも本数也多め。金額は1回券**billet**(ビエ)は、1・4ユーロ。

10回券**carnet**(カルネ)は、10・7ユーロ。

でも、けっこう乗る回数が多いので、5・6ユーロ払って一日券**mobilitis**(? 読み方不明)を購入することをお勧めします。

そして、トイレに行きたくなったならメトロに乗って、プランタンなどのデパートへ、ひとつ飛び！こここのトイレはきれいだし無料。しかもパリの中心にあるので便利。こんな感じで、無料のトイレの場所を頭に入れておけば、さっさと用をたすことが出来るわけなのです。残念ながら、これに気づいたのは最終日だったので、この日しか活用することが出来なかったのですが。

さて、まずはアメリカンにはおなじみの東駅に行ってみました。前にもMちゃんと来たことがあるのですが、その時ミーハーすぎると、あえて控えていた証明写真の撮影に一人で挑むのが目的！映画「アメリカ」に



こんなシーンが出てくるのですよ。

全くフランス語は分からんが、とにかく頑張つて雰囲気と勢いだけで、どうにか写真を撮つてみる。(もちろん超ハ顔で)その後、イラストに描いてあるような出来事に遭遇。最初、スピード写真の撮り方が分からないのかと思つて、ゆつくり日本語(!)で説明してあげただけけど、さっぱり通じない。(そりゃあ、ニホンゴですから)最後は、得意のジャパニーズスマイルで乗り切り、その場を後にしたのでした。

とりあえず、写真も撮れたし(これがまた、超ブサイクで笑えるんだけど)、次はモンマルトル。(ここも、映画アメリで主要な場所だったので)丘の上に立つサクレクレール寺院へ。真っ白な寺院でとても美しいです。モンマルトルの丘の上にあるので、ここから見るパリの景色も素晴らしい。

でも、ここら辺、厄介な客引きとかがめちゃくちや多くてちよつと怖い。日本人だと思つと、すごく話しかけてくるのですが、素無視でどうにか耐えました。(これから行



31日目 いよいよ帰国

く人、気を付けてください。一人だったらちよつと怖かった）アメリと言えば主人公が働いていた「カフェ・ドウ・ムーラン」。このお店もモンマルトルにあるのに、雨が降ってきたため断念。どこまでも、へなちよこ。なんとかお土産も全て購入。パリで最後の晚餐は、余った食材を使って、けつこうゴージャスなクリームパスタ。そして、Mちゃんが買ってきてくれたメロン！（私はメロンが大好物）そして、リンゴのタルト。こうして、最後の夜がゆつくりと更けていくのでした。

最終日である本日は、朝ごはんも超ゴーカ！なんせ、この朝食で全ての食材を片づけてしまわねばなりません。卵もハムもパンもチーズもジュースもコーヒーも何もかもたくさん食べることが出来ます。（今まで、どんな生活してたのやら？）しかも今朝は昨日の残りメロンがある。ステキ！

最後は、小さなほうきとちりとりで床を掃除して全て終了。本当に小さかったキッチンとも、毎晩、旅日記を描いていたテーブルともお別れ。他にも、座ると前のドアにひざが付くぐらい不自然に便器が前に設置されている（便器の後ろはけつこうスペースが空いている）トイレや、けつこう小さめのベッド。なんだか、1週間も生活すると愛着の湧くもんですね。

久々に重たいバックパック（くどいようですが、15kgです）を担いで、シャルルドゴール空港へと出発。無事日本に帰国したのでした。

今日の歩数
5,743歩

やっぱり英語は苦手です…。



帰りの飛行機の中で、大失態！英語がわからないにもほどがあります。それは、機内食後のお茶のサービスの時でした。

コーヒーか紅茶を聞きながら、サービスしてくれているCA(客室乗務員)さん。「紅茶をもらおう。ティーブリーズって言うぞ」と意気込んでおりましたら、どうやら紅茶(イングリッシュティ)か、緑茶(ジャパニーズティ)かを選ばないといけないらしい。

最終的に口をついてでてきた言葉は、「イングリッシュ プリーズ！」英語ペラペラの客室乗務員の方(しかも外国人!)に、「English please!」ってどうよ?! もうちょっと英語を勉強しようと思った瞬間でした。(ま、ほんまにこの一瞬の思いだったのですが)

長い長い旅も、いよいよ終わりになってしまいました。

最初スイスに行き、ぐるっとスイスをめぐりドイツへ。

そしてオランダへちよこつと立ち寄り、フランス入り。

世界遺産モンサンミッシェルに行き、もう一度パリへ。

特に長く滞在したパリ。

自炊したし、なんだかひとり暮らしのようで（いやいや！ Mちゃんとの2人暮らしね）、日本で実家暮らしの私にはとても楽しかったです。

そして、この旅の経験が私の人生において、とても重要でしかも貴重な体験にもなり、大切な思い出となりました。いろいろあったけど、無理してでも行ってよかったなあと思っています。

①で当日予約
Hôtel

Monte Carlo

44 faubourg Montmartre
tel : 01 47 70 36 75

1泊 37.5ユーロ (朝食別: 9.2-11)
(バス・トイレ別)



19.20日目
パリでの
お宿は

フランスの

宿

オパールの
近くです

すごく感じの良いホテル
だったんで、延泊したかったん
だけど、空いていなかったので
断念。

それにしても、パリは高!!
しかも、朝食がついてたし、
高いし、ちょっと玉子。

①で当日予約

21日目
パリでの
お宿は

Hôtel STANISLAS

1泊 39ユーロ。(朝食なし)

99号部屋裏部屋です。(天井が
たなめ)

リインで予約したのに、この部屋は
確実にダブルです。

無理やり、ベッドを1つにして
使ったみたい。

そい、たんだかちょっと気持ち
悪い部屋だったの。

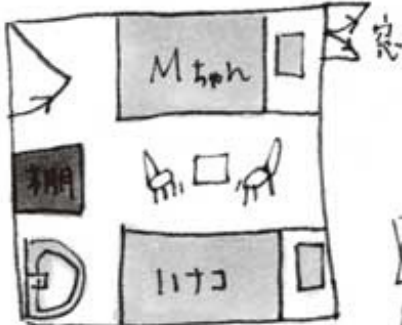


22泊目
レニヌでの
お宿は

① ゼキラミガット!

ユースホテル

1泊朝食付 16.5ユーロ (バス・トイレ別)



フランスで、このお値段で"朝食付"とはスバラシ!!

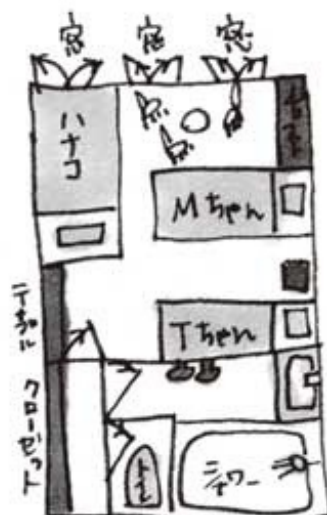
でも、ベッドの Springs が 最悪...。
腰に負担がかかりました...

② ちゃんちで オット予約

Mercure

Accor hotels 1泊 38ユーロ (朝食なし)

23泊目
モンサンミッシェルでの
お宿は...



モンサンミッシェルの島内ではよく、すこし
離れたところにあるホテルなので、少し歩いて
行く。でも、キレイなモンサンミッシェルが見え
ます。

24~30泊目
11泊目のお宿は

Hôtel du Monde

1泊 30ユーロ (バス・トイレ・キッチン別)

もしかしたら、ちょっと物騒なところにあ
る。でも、もしかしたら、大変快適に
すごすことができた。



ガイドブックで
見つけて、日本
から予約

お
ま
け

ごおと師匠と名所

紙粘土でヤギを作ってみました。なんとなくヤギっておじいさんぽいので、「俳句を詠むヤギ」。

おもしろいから、いろんな設定を試してみました。

そこで「自称・俳句の師匠で、季語すら上手く使いこなせないくせに、やたらと俳句を詠むヤギ」ごおと師匠が誕生。

彼のおかげで、楽しい旅になりました。

長ベンチ

ギネスに載った

今は過去



4時間も

マッターホルンを

待つ粹よ



モンサンミッシェルを臨むごおと師匠。はやる気持ちを抑えつつ、まずは記念写真を忘れないごおと師匠であった。

旅先で日記を描いているときも、傍らにはごおと師匠が。それにしても、写真のように、電車の中で日記を描くのは無謀でした。字が乱れまくり、色塗りもはみ出しまくり。すぐにあきらめて、師匠ごと片付けました。



【上】パリ・コンコルド広場
【左】パリ・オペラ座



【上】パリ・パレスロワイヤル
【下】パリ・凱旋門



【上】パリ・バスチユ広場
【左】パリ・ノートルダム寺院



【上】パリ・ベルサイユ宮殿鏡の間
【下】パリ・サクレクレール寺院

落ち着かない
絢爛豪華な
鏡の間



ごおと師匠 解体新書

今回の旅のお供、「ごおと師匠」のナゾに迫る!

初^{ハツ}の俳句紀行

2007年5月

高野山への俳句修業

俳句は 勢いじゃ!



その時の
一句

季語
苦手

弘法大師に

教え請う



初の俳句紀行で、「季語マスター」になれず、
そのまゝの事実を「5・7・5 っ」言うだけの
スタイルも確立。

その後、ヨーロッパ、東京、広島などにも
訪れ、あのまゝの現実を伝えつづける。

ごおと師匠

ヤギ(品種不明)

↑ 年齢不詳

俳句歴 20年

自ら「師匠」と

名乗っているが

いまだ「季語」

すら使にな

せぬ...

必須アイテム





トイ カメラ

魚眼レンズのトイカメラを初めて使ってみました。すごく小さいのに、けっこうキレイに撮れている！でも、24枚撮りのはずなのに、現像された写真は10枚位。失敗？



【上・右】ジュネーブの植物園にあるメリーゴーランド。魚眼で撮る必要があったかは不明。それにしても、この子供向けの遊具のはずなのに、決すぎる色合い、動物を模したシュールな乗り物部分。オトナ3人で夢中になってしまいました。一番テンションが上がり、写真もデジカメだけでなく、トイカメラ、携帯などいろいろ撮りまくってしまいました。



【上】ジュネーブ・レマン湖の白鳥。透明の綺麗な水なので水の中の足が見える。

【左・中央】マイエンフェルトのヤギ。魚眼レンズっぽく撮れてます。

ランキング

●おいしいごはん●

- 1位 クロワッサン
(パリ・シャンゼリゼ通りのFouquet's)
- 2位 クロワッサン
(マイエンフェルトのホテル Ochsen)
- 3位 ムール貝
(モンサンミッシェル) 何物のオムレツもかすんでしようおいしい。

 パリパリサクサクで
本当においしい!
やはりイマのオムレツは
このパリは絶品!

●感動の観光地●

- 1位 バルリニ動物園 
とにかく、しずまの
クヌートくんがかわいすぎます。
他、カワウソくんも愛想が
良くてオススメです。
- 2位 フレーメンの音楽隊
大雨の中、苦勞して見つけた
ので、喜びもひとしお。
- 3位 モンサンミッシェル
やはり世界遺産
だもの。感動です。

●快適な部屋●

- 1位 パリのアムールマン
"Hôtel du Monde"
清潔で使いやす。
1週間もいって、
おうち感覚。
- 2位 モンサンミッシェル
"Mercure Accor hotels"
広くてキレイ。
- 3位 チェリト → バルリニ
"City Night line"
たぶん、テラス
でから!

● オススメミュージアム ●

1位 「dick bruna huis」
 オランダ・ユトレヒト
 絶対行くべき! 
 とてもカワイイし、いろいろ
 考えさせられます。
 (シンプルだけど、深い)

2位 「Deutsches
 Technikmuseum Berlin」
 バルリン・ドイツ技術博物館
 電車・飛行機・船。
 とにかくたくさん展示があり、
 とても楽しいです。

3位 「ギム東洋美術館」
 ハーリにありまふ。
 日本が好きなもので...

● もう一度、行きたい街 ●

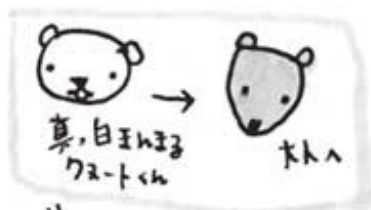
1位 ハーリ
 せっかく慣れた頃に
 帰国。
 もう一度、ゆるり滞在
 したい。

2位 シュネーフ
 Tちゃんもいるし、
 今度は長期月間
 暮らしてみたいかも?!

3位 ケーリヒ
 買いのこしはもかい
 あるので...

次点... ユトレヒト
 かわいい街
 でした。

バルリン動物園のクマートくん。
 この間 テレビで見たら、
 かなり成長していました。
 しかも、まっくら...
 いや、大きく成長したのは喜ばしい
 事なのであが...





旅で大事なこと。それは食事。
 ビンボー故に「今日の晩ご飯はパンだけ」という
 生活もしていましたが、たまにはおいしいものを
 食べていたので、その証拠写真をここで発表して
 おります。



!ツェルマッTYHの夕食 “ジュネーブの鳥の丸焼き #Tちゃんちで作ったサンドウィッチ
 \$ペルリンのソーセージ



%ミルフィーユ &バームクーヘン発祥の地で買ったバームクーヘン 'リンゴのタルト
 (ライスプリン プリンの中にご飯が入っています。・・・まずい。私は苦手だけど、Mちゃんは
 大丈夫らしい・・・ ※&以外、全てパリで購入



)フラン(焼きプリンケーキ) *包んだ状態



後ほど語る「なんでもランキング」での
おいしい食事BEST3です。

【1位】パリシャンゼリゼ通りのカフェ
“Fouquet's”のクロックムッシュ。
味もさることながら、ギャルソンの対応
もかなりステキ！

【2位】マイエンフェルトのホテル
“Ochsen”のクロワッサン。
どこかからか仕入れているようだけど、
本当にサクサクでおいしい！

【3位】モンサンミッシェルのムール貝
どこのお店かも忘れたけど、味付けが絶
妙！



【上】次点
ハンブルグで買った
フィッシュ&チップ
ス。ガーリックが利
いていて美味。
アツアツのまま新聞
に包んでくれます。
この味が忘れられず、
海辺の街に行くと探
してしまう一品。

描ききれなかったエピソード

1ヶ月にもわたる旅の中では、まだまだ描ききれなかったエピソードが満載！ その中から、いくつかをご紹介します。

1

パリのインド人街に迷い込む。

花の都パリのはずなのに、周りは全てインド人。
フランス語よりもヒンドゥー語率高し。ものすごい物価が安く、水を買ったものの、ペットボトルの外側が汚れていた。
封が開いていないから、全然問題はないんだけどね。
ヨーロッパなのか、アジアなのかわからなくなっていました。

2

空港に向かう電車の中にいたお兄ちゃん

空港に向かう電車の中でアコーディオンを弾くお兄ちゃんがいた。
2人一組でチップを稼ぐ人たちだけど、アコーディオンのお兄ちゃんの指がほとんどなかった！ それなのにあの演奏・・・すごい！
もちろんチップははずんだけど、アコーディオンじゃない方の兄ちゃんにとられて、けっこうご不満な私。

3

今思えば、なぜ？ かたくなに節約。

そんなに裕福でもないけど、今思えば、せっかくヨーロッパまで行ったのに、なぜそこをケチる？！ と思うことが多数ありました。
全てはユーロ高のせい。
両替のレートに敏感になり、手持ちの現金は常に乏しい。そして、なぜだかたった2ユーロでもカードを切り倒す私。帰国してからの請求に苦しんだのは言うまでもありません・・・。

残りは、4コママンガ劇場でご覧になってくださいませ。
(4コマにする意味は、特になかったのですが)

4

パリ・ベルリンのホテルで、心霊体験?!

今まで感じたことはなかったのに、たくさん泊まったホテルの中で2つだけ、とても気持ち悪いと感じた所がありました。どっちもシャワールームで、目をつぶっているのにいろんなイメージが湧くの。

1つは、小さな女の子(5歳くらい?)が、視界の端にちらちら見える感じ。もう一つは、首吊ってる男の人のイメージが頭から離れない。

・・・いや、靈感なんてないんですけどね。



5

野菜を食べないで、舌中口内炎が出来る。

スイスの頃は、旅も始まったばかりだし、Tちゃんの家泊めてもらったり、夕食付きのホテルだったりでしたのですっかり野菜も食べることが出来ていましたが、ドイツからは切りつめる食生活。
パリに着く頃には、舌中口内炎が！ 自炊も出来るし、Mちゃんが急いで野菜を買ってくれました。



6

手の甲が皮膚病？ 大量のブツブツ発生！

日本にいる頃もなっていた「紫外線アレルギー」。手の甲にブツブツが出来て、とてもかゆいのです。でも、しばらくたつと自然に治るので、今回もそのつもりで行ったら、これがひどくなる一方で。かなり、気持ち悪い手になっていました。ドイツ語の辞書で「薬Arznei」「欲しいwünschen」「吹き出物Ausschlag」「かゆじucken」「たぶんmahrscheinlich」「紫外線アレルギーultraviolette Stralch Allergia」
 ……なんて、調べて薬局の前をうろうろしたけど、へなちょこなので、自分の自然治癒力に任せる。(帰ってきてから治りました)







Zuckerfabrik Aarberg

あとかき

自称「日本大好きっ子」である私は、神社仏閣だの、和の芸術だのが大好きなのですが、それでも、海外へのあこがれはあります。国内旅行でも普段は大満足なのですが、たまに長期での休み（世間一般では「無職」の期間なのですが）が出来ると、「今行かなければ、次いつ行けるかわからないし！」と自分を説得。海外へと旅立ちます。

でも、いつも帰ってきてから思うのは、「日本っていいなあ」ということ。海外に行って、日本の良さを再認識して帰ってくる。でも、しばらくするとまた海外へのあこがれが。こうやって、何回も行ってしまうんですね。

行くたびにつけている旅日記。旅をしながら描くのは意外に大変で、半分寝ながら描いていることもけっこう多いです。でも、いつの間にか、「旅をすること」よりも「旅日記をつけること」が楽しくなってきた、さらに「誰かにみせて褒めてもらうこと」がうれしくてしょうがないことになりました。

仕事をしながら、ほぼ一年かけてまとめた旅日記。つたない文章、微妙なイラストと、まだまだ読みにくい点があり、さらにあまり参考にならない内容(笑)！それでも、こんなにへなちょこな私が行った旅を、この本を読むことによって、一緒に楽しんでいただけなのなら、大変うれしく思います。

二〇〇八年三月 サイトウ ハナコ

サイトウ ハナコ

旅好きのおもしろいこと好きの普通の人。
人生右肩上がりで、どんどんおもしろくなっ
ていて、今後どうなってしまうだろうと、
ちょっぴり不安な小市民。

「旅ゴロ!」とは、「旅頃」と「旅でゴロゴ
ロしてリラックスする」というふたつの意味
から、友人が名付けてくれました。

「kobaco.(コバコ)」というアートユニットで
も活動しています。こちらもblogもチェック
してみてください。

コバコのブロガー→<http://kobaco.exblog.jp/>

旅ゴロ!～ヨーロッパ放浪編～

へなちょこ欧羅巴紀行

■平成20年5月30日 第3版発行

■著者 サイトウハナコ

■発行所 イロドリ舎

■URL http://www.zoo.zaq.jp/irodori_sha

■Mail irodori_sha@yahoo.co.jp (是非、感想をお聞かせ下さい)